

Kanoya

2022 National Institute of Fitness and Sports

2022 大学案内



スポーツで
未来を拓く
自分を創る





鹿屋体育大学長

松下 雅雄

鹿屋体育大学では、全国でただ一つの国立の体育系大学という特性を十分に活かし、健全な身体と調和・共生の精神を併せ持つ人材の育成に必要な不可欠なスポーツ・身体運動を通じて、創造性とバイタリティーに富む有為の人材を輩出するとともに、体育・スポーツ科学分野における学術・文化の発展と国民の健康増進に貢献し、もって健全で明るく活気に満ちた社会の形成に寄与することを目的としております。

この目的を実現すべく、教育、研究、社会貢献及びグローバル化という観点から、社会の信頼に応えられるよう自己改革をしつつ、個性輝く大学を目指しております。

皆さんには、キャンパスの豊かな自然環境と充実した教育研究施設の中で、各自の設定した目標を達成するよう計画的に取り組み、これからの社会に必要なリーダーとしての能力を備えていただきたいと思っております。

学長からの メッセージ

山並みゆかし 高隈山に
いのちの歌が こだます
真理をみつめて 能力に挑み
情熱よせる 若人の
ああ 感激の 花が咲く
鹿屋体育大学に
ああ 感激の 花が咲く
鹿屋の地から 世界の国へ
いま交流の 輪をひろげ
豊かな抱負を 語らいながら
未来を拓く 若人の
ああ 栄光の 旗が鳴る
鹿屋体育大学に
ああ 栄光の 旗が鳴る

黒潮満ちる 錦江湾が
夢さわやかに 明けわたる
日進月歩の 理想にもえて
大きく伸びる 若人の
ああ 青春の 意気躍る
鹿屋体育大学に
ああ 青春の 意気躍る

鹿屋体育大学 学生歌

作詞 内与詩守 作曲 大川内国雄

- TOPICS…………… 2
- 体育学部…………… 8
- 大学院…………… 18
- 学生生活・就職…………… 19
- 施設…………… 32
- 課外活動…………… 38
- 入試情報…………… 44
- 地域貢献・社会連携…………… 46
- アクセス・周辺環境…………… 48



スポーツで
未来を拓く
自分を創る

第32回オリンピック競技大会(2020/東京) 本学OB 3名出場決定!

本学の卒業生3名が、2021年7月に開催される東京オリンピック競技大会にて、日本代表として出場することが内定しました! 母校として心からの祝福と益々のご活躍を祈念しております!

カヌー K4-500m 宮田悠佑さん

(和歌山県教育センター学びの丘/平成26年3月卒)

2019年8月に行われたカヌースプリント世界選手権にて、500m4人乗りに出場し、全体で12位、アジア大陸で1位となり東京五輪出場を決める事ができました。五輪出場が懸かるレベルの高い試合の中で、無事出場枠を取ることができ、ホッとしています。五輪本番に向けて、一つでも上の順位がとれるようにしっかりと準備をし、自分の競技人生の中で最高のパフォーマンスを発揮し、多くの皆様に感動を与えられるように頑張りたいと思います。



自転車競技 男子オムニウム 橋本英也さん

(日本競輪選手会/平成28年3月卒)

東京オリンピック代表に選ばれて非常に光栄に思います。鹿屋体育大学時代に4年間お世話になった大好きな鹿屋は第2の故郷、卒業後も応援いただく大学関係者や鹿児島島の皆様に心より感謝するとともに、コロナの影響でご苦労されている皆様に今回の出場決定を一緒に喜んでいただければ嬉しいです。オリンピック開催は1年先送りになりましたが、残された課題を克服できる有意義な時間を与えられたと前向きにとらえています。オリンピックでは狙うは勿論金メダル、大会までしっかり精進していきますので、引き続き暖かい応援を宜しくお願い致します。

競泳 4×200mリレー 高橋航太郎さん

(自衛隊/平成28年3月卒)

鹿屋体育大での4年間は、これまでで一番きつくて楽しくて最も成長できた4年間でした。鹿屋での土台がなければ今の自分はいないと思います。在学中に開催が決まった東京オリンピックに当時は出られるとは思っていませんでしたが、諦めずにやってきて良かったです。子供の頃から夢に見てきたオリンピックなので、精一杯噛み締めて楽しんで頑張りたいと思います。



みんなの タイムトライアル2020 supported by Blue Windsを開催!



2020年11月8日、市民向けのスポーツイベント「みんなのタイムトライアル2020」が昨年に引き続き、陸上競技場において開催しました。

このイベントは、地域のランナーの方に、タイムトライアルの機会を提供するとともに、本学の資源を活かし、地域でのスポーツプロモーションを図ることを目的としています。生涯スポーツ実践センターが主催し、地域活性化のためのBlue Winds事業として、陸上競技部の全面協力のもと開催しました。

今大会は、鹿屋体育大学陸上競技部の学生と施設・設備の全面的な支援で行われるため、国際大会をイメージさせるような名前をローマ字で表記したゼッケンだけでなく、レーンナンバーの腰ゼッケンの配布、一人ひとりの選手紹介、スタート合図も「On your marks (オン ユア マークス)」で位置につき、ゴールも電子時計で測定され、さらに100m以外には1人に1人以上のペースメーカーが並走し、参加者が自ら設定した目標タイム達成を支援するという参加者も大満足の環境が実現しました。



2020 TOPICS

陸上日本インカレ3種目優勝

2020年9月、天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会において、陸上競技部の小林青さん(スポーツ総合課程3年)が男子1500m、中島紗弥さん(同3年)が女子5000m、山本渚さん(同4年)が女子走幅跳で1位に輝きました!その他の種目でも5名が入賞し、素晴らしい成績を残しました。



インカレで
輝く本学の精鋭!



カヌーインカレで2種目優勝

2020年9月、第56回全日本カヌー学生選手権大会において、橋沼新さん(スポーツ総合課程4年)がカヤックシングル200mで優勝、田中智貴さん(同2年)、岩永結明さん(同1年)がカナディアンペア200mで優勝しました!多数の選手が入賞し、素晴らしい成績を残し、男子はカナディアン部門で2位、総合成績でも3位に輝きました。

バレー 4年ぶり4回目のインカレ優勝

2020年12月、第67回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会ミキブルーンスーパーカレッジバレー 2020において女子バレー部が4年ぶり4回目の優勝を果たしました!4年生でキャプテンの金本彩花さんが「後輩を信じるしかなかったこの試合。みごとに期待に応えてくれました。4年間ついてきてくれてありがとう」と、うれしさと感謝を口に、会場にいた部員たちからも涙があふれる様子も見られ苦しかったこれまでが報われた優勝となりました。



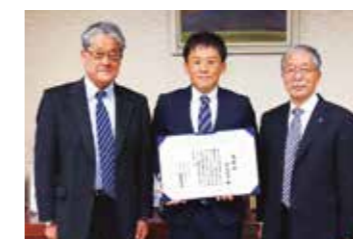
体操競技部インカレ準優勝

2020年10月、第74回全日本学生体操競技選手権大会において、男子団体総合で準優勝に輝きました。本学体操競技部において準優勝は歴代最高位。種目別ではキャプテンの杉野正亮さん(スポーツ総合課程4年)が鉄棒で1位、あん馬で2位、藤巻峻平さん(同3年)、上山廉太郎さん(同2年)がゆかで2位に入賞するなど活躍しました。

本学学生の研究成果が表彰

九州体育・スポーツ学会 若手優秀発表賞 受賞!

体育学研究科修士課程2年の小川稜さんが、「九州体育・スポーツ学会第69回大会」において若手優秀発表賞を受賞しました。この研究は、サッカーのゴールキーパーがシュートを防ぐためにポジションを移動する特徴(ポジショニング)を、ゴールキーパーの移動の方向と、シュートが打たれたときのゴールキーパーの位置と、ボールの位置とゴールの中心がなす線との距離を用いて定量化した。この成果は、1点を争うことの多いサッカーで、ゴールキーパーが相手チームの得点を防ぐための方法を考える基礎資料になります。

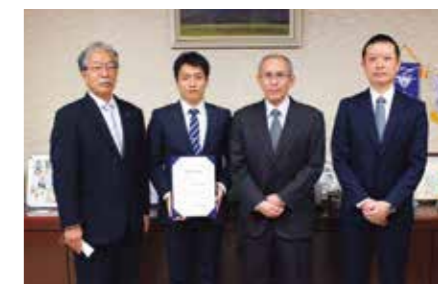


登山医学会 奨励賞を受賞!

第40回日本登山医学会学術集会において体育学研究科修士課程2年の照内明良さんが奨励賞を受賞しました。照内さんの研究は、「登高速度のわかる機器を用いて体力相応の歩行ペースを自主学习する試み」と題し、体力相応の歩行ペースで登山することで、心臓突然死を起こすリスクを軽減することに寄与できる可能性があること示した。今後山岳遭難対策の一助となること期待されます。

「日本水泳・水中運動学会年次大会」 奨励賞2年連続受賞!

「日本水泳・水中運動学会年次大会」における一般口頭発表部門で、体育学研究科修士課程2年の加地智哉さんが奨励賞を2年連続で受賞しました。発表内容は泳者が手で産生した推進力をモーションキャプチャと慣性センサの両者を用いて測定、比較することで、慣性センサにより推定された推進力の信頼性と精度について検証した。この研究結果により、慣性センサは低速から中程度の速度まではモーションキャプチャを用いる手法と近似した推進力を推定できることが明らかとなりました。



※本学では学会賞受賞報告で学長との記念撮影を行っています。

POINT | 01

22の団体と
1つの研究会が
全国・世界で活躍

>>> P38 ~ 「課外活動団体」



POINT | 02

2つの課程でそれぞれの専門に
向けた学びが可能

>>> P8 ~ 「体育学部」

NIFS 10



POINT | 07

47都道府県から
学生が集まり
仲間の輪が広がる

>>> P44 ~ 「入試情報」



POINT | 06

スポーツで
世界と
つながる

>>> P26 ~ 「国際交流」



POINT | 08

最先端の
研究設備を備えた
施設で学べる

>>> P32 ~ 「施設」

POINTS

鹿屋体育大がよくわかる
10のポイント



POINT | 03

ニーズに対応した
多様な
教育プログラム

>>> P18 ~ 「大学院」

POINT | 05

医師、看護師が
常駐し
リハビリ機器も
利用可能

>>> P22 ~ 「福利厚生」



POINT | 09

地域との交流で
様々な取り組み

>>> P46 ~ 「地域貢献・社会貢献」



POINT | 10

豊かな自然で
学びに集中
できる環境

>>> P47 ~
「アクセス・周辺環境」

POINT | 04

1年次から
手厚い就職支援

>>> P28 ~ 「就職支援」



スポーツで未来を拓く自分を創る



総合体育館 主体育室



テニスコート



総合体育館 体操練習室



総合体育館 ダンス練習室



武道館



アドミッション・ポリシー

1. **【体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生】**
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生。
2. **【自己表現ができる学生】**
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生。
3. **【新たな課題に挑む意欲のある学生】**
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生。

カリキュラム・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で1. 専門性の深化と充実、2. 社会人としての豊かな教養の涵養、3. 将来を展望し、勤労観・職業観を醸成できるための教育課程を編成しています。

ディプロマ・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定します。

「課程」と「系」

本学は、教育目標の達成に向け、体育学部にスポーツ総合課程及び武道課程を設定し、各課程の中に3つの系(柔軟なコース)を編成し、それぞれの専門に向けた勉学ができるようにしています。

スポーツ総合課程

(定員：120名)

武道課程

(定員：50名)

スポーツ総合課程の目標

スポーツ総合課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

アスリート・コーチング系

トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース。

生涯スポーツ系

健康づくりのコーディネートやスポーツクラブ等の管理運営、プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース。

武道課程の目標

武道課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

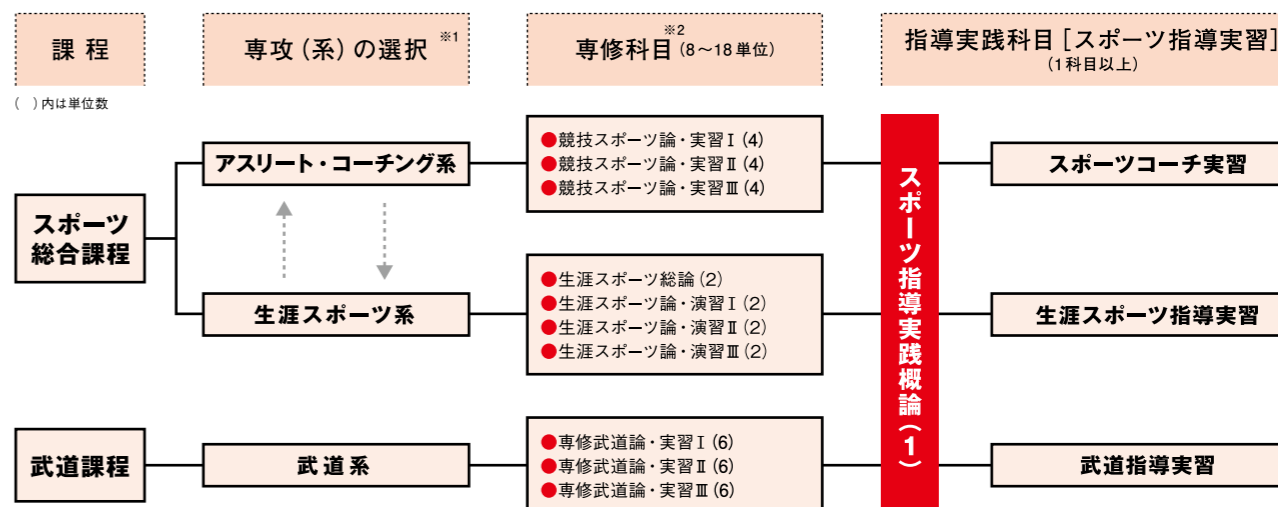
武道系

武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修練形式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース。



専攻科目の系の選択

- ①スポーツ総合課程に所属する学生は、「アスリート・コーチング系」「生涯スポーツ系」より1系以上を選択し、履修します。
- ②武道課程に所属する学生は、「武道系」を履修します。

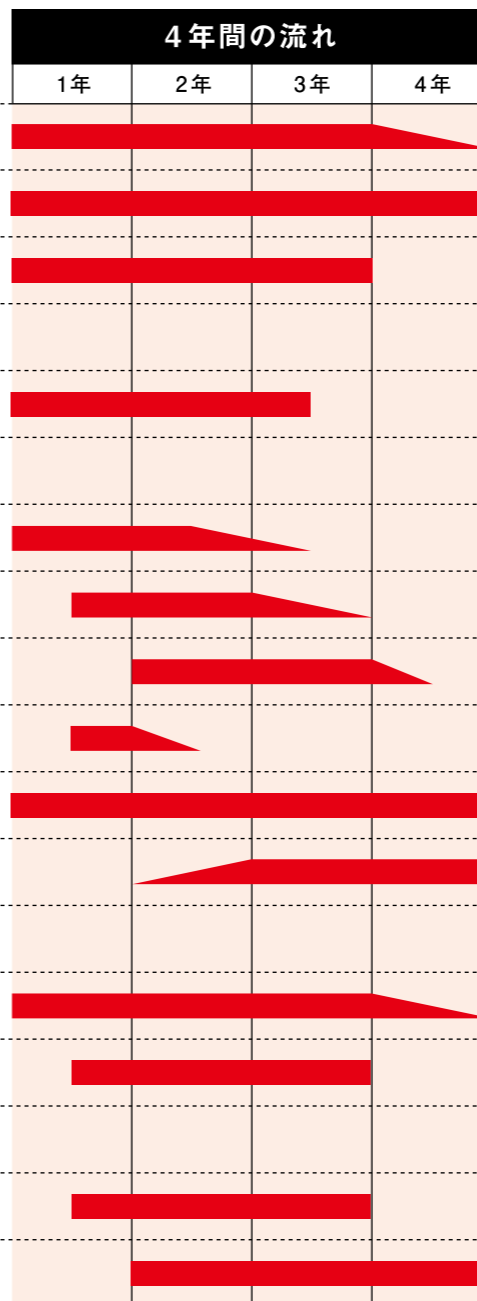


FACULTY OF PHYSICAL EDUCATION

教育課程の編成

授業科目は原則として学期完結型の科目(学期毎に単位が取れる科目)として設定しています。ただし、一部の科目について、通年科目(1年間履修して単位がとれる科目)となっています。

一般科目	社会の一員として適切に振る舞う態度と豊かな教養、コミュニケーション能力を身につける科目
コミュニケーション科目	国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目
社会・文化・自然科目	社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目
総合科目	社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現的能力や討論力を身につける科目
キャリア形成科目	スポーツリーダーとしての将来像と職業観・就業観及びキャリアデザイン力を醸成する科目
キャリアデザイン科目	スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目
専門科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する専門的な知識、実技力、科学的支援力や表現的能力及び課題解決力を身につける科目
基礎科目A(人文・社会・自然系)	体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目
基礎科目B(指導・普及系)	スポーツ・武道及び体育・健康づくりについての指導や普及の基礎的な内容を理解する科目
応用科目	国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための専門的、応用的な内容を身につける科目
実験演習科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現的能力を身につける科目
関連実技科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技力を身につける科目
ゼミナール(卒業研究)	スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける関心のあるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目
専攻科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して年齢、目的等に応じた体系的な実技能力や事業運営力を身につける科目
専修科目 (アスリート・コーチング系/生涯スポーツ系/武道系)	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目
指導実践科目 (アスリート・コーチング系/生涯スポーツ系/武道系)	専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的・実践的に活用し、深める科目
教職科目	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許状を取得するための専門(教科)及び教職に関する科目
教職	中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目
専門	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門(教科)に関する科目



スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダー



授業時間

1. 学期と授業時間割

学年を前期(4月1日～9月30日)と後期(10月1日～3月31日)に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。なお、授業は、原則として各学期とも15週(試験を課す場合は16週)にわたって行います。

	第1時限 (90分)	第2時限 (90分)	第3時限 (90分)	第4時限 (90分)	第5時限 (60分)
開始	8:30	10:10	12:40	14:20	16:00
終了	10:00	11:40	14:10	15:50	17:30

前期: 4月1日～9月30日
後期: 10月1日～3月31日

授業は、左表のとおり行います。集中講義や学外授業などを行うことがあります。

2. 休業日

休業日(授業を行わない日)は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。

- ① 週休日(土曜日・日曜日)及び国民の休日に関する法律に定める休日
- ② 開学記念日(10月1日)
- ③ 夏期休業日(8月11日～9月30日) 冬期休業日(12月26日～1月7日) 春期休業日(3月11日～3月31日)
- ④ その他大学が定めた日 注: 休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります(集中講義等)。

3. 授業の方法

講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。また、授業は対面形式の他、遠隔形式で実施しているものもあります。※情報活用能力の育成等のため、タブレットコンピュータを必携としております。

また、授業科目は下表のように、履修(選択)の仕方により「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区分	科目区分の特徴(ねらい)
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目

ゼミナール

ゼミナールは、少人数の学生が指導教員の下で、お互いに質疑討論を交わし、学習成果を発表しながら専門研究領域における知識を深め、研究方法を履修していく授業形態です。3.4年次の必修科目で、各指導教員により実施されます。ここでは、数あるゼミの中から3つを紹介します。

スポーツ・武道実践科学系 | 竹中 健太郎ゼミ | 剣道の競技性と文化性の追求

剣道は、生死を賭けた闘争技術から発祥し、長い歴史の中で伝統武道の一つとして現代の形態に発展してきました。近年、大会の隆盛により競技化が加速している中、何とか剣道は競技性と文化性が共存し、そのバランスを保ちながら歩み進んでいます。武道課程を有する本学で剣道を専攻する学生は、武道文化としての剣道の理解度を深めるとともに、その実践力を高め、後世に伝承する使命が課せられています。当ゼミでは、理論学習と実技実習を両輪とし、日本の伝統的な身体運動文化が競技化された現代の剣道について、「競技力の向上」あるいは「効果的な指導法」を剣道の歴史、剣道形、審判法、指導法を通じて実践的な検討・研究を行っています。



茅根 大裕さん (土浦日本大学高等学校出身・茨城)

私は剣道の競技性と文化性の両面を学ぶため、このゼミを選択しました。先生は指導面だけでなく、競技者としても輝かしい実績をお持ちで、私の剣道に対する価値観や考え方は大きく変わりました。競技者として全国トップを目指す学生が稽古や討論を行う中で、お互いを高め合える環境が整っています。身に付けた剣道の専門的な知識と技能により、自分の剣道をさらに高め、指導者としても剣道のすばらしさを伝えたいと考えています。将来を見据えた剣道の実践力を高めることができる最高のゼミです！

スポーツ生命科学系 | 藤田 英二ゼミ | 中高齢者の健康づくりからスポーツ外傷・障害予防まで幅広く！

私たちのゼミでは、特に中高齢者を対象としたノルディックウォーキングや自身の体重を負荷に利用したレジスタンストレーニングなどの効果、ならびにスポーツ選手、特に柔道選手を中心としたアスレチックトレーニングに関する研究を中心に取り組んでいます。一見、それぞれは関係なさそうに感じますが、運動の効果とリスクを理解し、それぞれの対象に応じた運動処方プランを立て、正しく効果的に行わせ、それら運動の効果をきちんと評価するという一連の流れは、幅広い対象に対する運動処方という点で一致すると考えています。「どのような対象にも、根拠と自信を持って運動・トレーニング指導が出来る」そのような人材の育成を目指しています。



松西 夢紀さん (愛媛県立三島高等学校出身・愛媛)

私は柔道選手として自身が成長するため、また将来指導者を目指す者として、広い視野を学びたいと思い、このゼミを選びました。卒業研究は、小学生女子柔道強化選手の体力測定値をまとめることで、今後のタレント発掘事業に役立つ指標を示すことを目的として取り組みました。ゼミを通して、これまではなんとなく感じていたことを論理的に理解できる楽しさを覚え、他者にわかりやすく伝えるために試行錯誤する大切さを学ぶことができました。これからは指導者として、この経験を子どもたちの成長のために活かしていくとともに、自らの学びもより深めていきたいです。



スポーツ人文・応用社会科学系 | 梶 ちか子ゼミ | 楽しい保健体育の授業づくりを考える

私たちのゼミでは、保健体育教師に必要な授業設計力や教授技術、そして高い実践的指導力をもった教員の育成を目指し、保健体育の授業づくりについて研究しています。学校の体育実技の授業では、運動が得意な生徒ばかりではなく、運動が苦手・嫌いといった生徒もいます。運動習慣の二極化も課題となっている今、様々な背景をもった生徒それぞれが、各自の課題解決に向け、主体的に運動に親しめる楽しい体育授業とはどのようなもののでしょうか。ゼミのメンバーでディスカッションを行ったり、関連の書籍や論文を読み込んでみたり、教師役と生徒役に分かれて模擬授業を実施するなどして、魅力ある保健体育教師を目指して、日々研鑽を重ねています。



遠矢 浩人さん (鹿児島県立明桜館高等学校出身・鹿児島)

私は同じ教員を志す仲間と高め合い教員採用試験に合格したい、教員になる上での資質・能力を身につけたいという思いでこのゼミを選びました。学習指導要領の内容理解や集団討論により、試験に向けた準備やより良い教員とは何か、良い授業とは何かについて研究しています。ゼミの仲間と熱く討論することで考えも深まり、自分自身にとってとてもプラスになります。このゼミで学んだことは将来の教員生活で、授業づくり、学校現場での課題・問題解決において必ず活かせると信じています。



開設科目

※は外国人留学生対象科目

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次
コミュニケーション科目	総合英語Ⅰ	1～4	コミュニケーション科目	中国語	1	社会・文化・自然科目	日本文化論	1
	総合英語Ⅱ	1～4		韓国語	1		異文化理解	3
	総合英語Ⅲ(コミュニケーションのための英文法)	1～4		国語・文章表現法	1		生物化学論	4
	総合英語Ⅲ(英語多読・多聴)	1～4		ドイツ語	1		身体科学論	1
	総合英語Ⅲ(健康とスポーツ関連の英語)	1～4		フランス語	1		環境論	3
	総合英語Ⅳ(アクティブラーニング)	1～4		日本語演習Ⅰ	1		社会にできるための経済学	3
	総合英語Ⅳ(スポーツ英語)	1～4		日本語演習Ⅱ	2		バイオメカニクスを学ぶための物理数学	1
	総合英語Ⅳ(日常会話)	1～4		日本事情	1		総合演習A	1
	総合英語Ⅳ(プレゼンテーション入門)	1～4		現代日本事情	2		総合演習B	3
	総合英語Ⅴ(Q&Aのテクニック)	1～4		各国文化研究	1～4		情報処理A	1
	総合英語Ⅴ(海外留学)	1～4		倫理・哲学	1		情報処理B	2
	総合英語Ⅴ(アクティブコミュニケーション)	1～4		人権論	1		情報処理C	3
	総合英語Ⅵ(オリビック)	1～4		ジェンダー論	1		プレゼンテーション・討論Ⅰ	2
	総合英語Ⅵ(異文化コミュニケーション)	1～4		歴史学	2		プレゼンテーション・討論Ⅱ	3
総合英語Ⅵ(海外で暮らす)	1～4	社会学	2	交流リベラルアーツ	1～4			
総合英語Ⅵ(実践プレゼンテーション)	1～4	日本国憲法	1					

科目	履修年次	科目	履修年次	科目	履修年次
キャリアデザインⅠ	1	キャリアコミュニケーション	3	キャリア対策セミナー(一般企業)	3
キャリアデザインⅡ	1	企業実習1週	2～3	キャリア対策セミナー(公務員)	3
キャリアデザインⅢ	2	企業実習2週	2～3	ボランティア活動	1～4
キャリアセミナー	3	キャリア対策セミナー(教員)	3		

基礎科目	履修年次	基礎科目	履修年次	関連実技科目	履修年次
解剖生理学	1	スポーツ文化論	2	卓球①	1
体育学概論	1	スポーツトレーニング実践論	3	卓球②	3
体育・スポーツ史	1	スポーツ政策論	3	バドミントン	3
健康教育学	1	武道文化論	3	ソフトボール①	2
運動生理学	1	身体発育発達・老化論	2	ソフトボール②	3
スポーツ栄養学	2	スポーツ戦術実践論	3	ダンス	3
スポーツ社会学	2	スポーツ調査法	3	柔道	1
スポーツマネジメント概論	2	スポーツビジネス論	3	剣道	1
生涯スポーツ概論	1	体育・スポーツ統計学	3	エアロビクス①	1
スポーツ心理学	1	エアロビクス②	3	エアロビクス②	4
バイオメカニクス	2	運動処方論	3	ジョギング&ウォーキング	3
衛生学・公衆衛生学	2	応用スポーツ心理学	3	生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	1
スポーツ医学	3	イベント管理概論	3	アウトドアスポーツ実習(夏季)	2
救急処置論・実習	2	ヘルスプロモーション論・実習	3	アウトドアスポーツ実習(冬季)	2
トレーニング科学概論	2	スポーツ国際開発論	2	海洋スポーツ	2
スポーツメンタルトレーニング論	2	スポーツパフォーマンス研究論	3	ラグビー①	1
運動学概論	2	救急法実習	1～4	ラグビー②	2
学校保健	2	体育学実験Ⅰ(運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)	1	ゴルフ	4
スポーツと法	3	体育学実験Ⅱ(運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学)	2	なぎなた	4
コーチ学概論	2	陸上・体操・水泳	3	相撲	1
障がい者スポーツ論	3	バスケットボール	1	弓道①	2
武道学概論	1	サッカー	1	弓道②	3
コンディショニング論・実習	2	バレーボール①	3	弓道③	2
生涯スポーツ実践論	3	バレーボール②	4	野外活動	2
武道史	2	テニス	2	体力トレーニング	1
運動生化学	2			ゼミナールⅠ	2
アスレチックトレーナー論	3			ゼミナールⅡ	3
アスレチックトレーナー実習	4			ゼミナールⅢ	4
スポーツ産業論	2			卒業研究	4

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次				
専修科目	アスリート・コーチング系	陸上競技	1～4	専修科目	競技スポーツ論・実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	専修科目	健康・体力論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	実践演習科目	スポーツ実践概論	1		
		水泳	1～4		海洋スポーツ		1～4		生涯スポーツ論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2～3	スポーツコーチ実習	3
		体操競技	1～4		自転車競技		1～4		野外教育論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ		生涯スポーツ指導実習	3
		バレーボール	1～4		野球		1～4		専修武道論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ		柔道	1～4
		バスケットボール	1～4		生涯スポーツ学総論		2		剣道		1～4	
		サッカー	1～4		生涯スポーツ論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ		2～3		SCO-OP実習		3～4	
		テニス	1～4		コミュニティ・マネジメント論・演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ		2～3					

区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次		
教職科目	教職	教師論	1	教職	特別活動論	教職	生徒・進路指導論	教職	保健体育科教育法Ⅲ	3
		教育心理学	2		教育方法・技術		2		保健体育科教育法Ⅳ	3
		特別支援教育	1		学校と教育の歴史		1		教育実習Ⅰ	4
		道徳の理論と指導法	3		教育法・教育行政		2		教育実習Ⅱ	4
		総合的な学習の時間の指導法	3		介護等体験		2		教職実践演習(中・高)	4

取得可能な資格

[1] 本学で取得できる教育職員免許状 ●中学校教諭一種免許状 ●高等学校教員一種免許状 ※本学の授業科目の履修によって取得することができます。

[2] 本学で取得できる資格・受験資格等

【スポーツ指導基礎資格】●スポーツリーダー【競技別指導者資格】●コーチ1●コーチ3●教師【フィットネス資格】●ジュニアスポーツ指導員●スポーツプログラマー【マネジメント資格】●アシスタントマネージャー【各種加盟団体等の資格】●日本サッカー協会公認C級コーチ●全日本剣道連盟公認社会体育指導員(初級)【健康運動実践指導者】●健康運動実践指導者【健康運動指導士】●健康運動指導士【その他の資格等】●イベント検定●レクリエーション・インストラクター●レクリエーション・コーディネーター ※資格取得のためには、本来は各種加盟団体で実施する講習会を受講し、検定試験に合格しなければなりません。本学は課程認定を受けていることから、指導者資格ごとに指定された本学の授業科目を履修すれば、講習会の一部が免除されます。

— 体育学部 — スポーツ総合課程 3年
横山 真奈



YOKOYAMA Mana

Q1: なぜ鹿屋体育大に?

一番は、鹿屋体育大学のチームでバレーボールで日本一を取りたかったからです!また、私の地元が近く、九州からあまり出たくないというのがあります。

Q2: 今頑張っていること、目標は?

部活のことでの目標は、日本一になること。その他の目標は、自分の目標に向かって勉強することです。

Q3: 好きな授業はなんですか?

社会学が好きです。スポーツと経済について学んだり、今までスポーツをしてきただけの自分が、スポーツがどれだけ社会を動かしているとか学べてとても面白かったからです。

Q4: 鹿屋体育大を目指す人に一言!

鹿屋体育大学は、自然に溢れていて、スポーツ、勉学に集中できる最高の場所です。私は、鹿屋体育大学にきて良かったと思っています。みなさんも一緒にスポーツに勉学に頑張らしましょう!!

— 体育学部 — 武道課程 3年
安次嶺 心



ASHIMINE Kokoro

Q1: なぜ鹿屋体育大に?

きっかけは尊敬する先輩方が在籍していることからです。体育について多方面から学ぶことができ、また自然豊かな鹿屋市で集中して競技に取り組めると思い、鹿屋体育大学を選びました。

Q2: 今頑張っていること、目標は?

課外活動のなぎなた競技です。コロナの影響で昨年度の大会が全てなくなってしまったので、今年こそはインカレで優勝できるよう2年分の想いを込めて取り組んでいます。

Q3: 好きな授業はなんですか?

楽しい授業はたくさんありますが、特に心理学やマーケティングに関する授業が好きです。授業を通して日常や競技生活の視点を変えるきっかけになったり、スポーツに対する視野を広げることができます。

Q4: 鹿屋体育大を目指す人に一言!

勉学、競技に対する向上心がある人には最適な場所です!研究施設も充実していて、専門的な先生方が丁寧に指導して下さいます。また、様々な競技の学生からたくさん刺激がもらえます。この鹿屋の地で目標に向かって共に頑張っていきましょう!



私の時間割<2年前期>

	月	火	水	木	金
1限	運動生化学	スポーツ社会学	スポーツ経営・管理学概論		
2限	海洋スポーツ①		保健体育科教育法I	衛生学・公衆衛生学	
3限		英語コミュニケーションII			競技スポーツ論・実習II バレーボール
4限	救急処置論・実習		スポーツカウンセリング論		
5限	救急処置論・実習		総合演習D		

集中講義: 特別支援教育①、総合的な学習の時間の指導法
■平成31年度入学(AO入試) ■宮崎日本大学高等学校出身・宮崎



私の時間割<1年前期>

	月	火	水	木	金
1限			体育・スポーツ哲学と倫理	体育・スポーツ史	情報処理A③
2限		解剖生理学	生物化学論	キャリアデザインI	
3限	英語I	サッカー①	身体科学論		専修武道論・実習I 剣道
4限	剣道①		健康教育学		
5限					

集中講義: 教師論①
■平成31年度入学(推薦入試) ■沖縄県立首里高等学校出身・沖縄

— 体育学部 —
— スポーツ総合課程 3年 —

石原 大地



ISHIHARA Daichi

Q1: なぜ鹿屋体育大に?

体育・スポーツを学ぶことのできる大学を考えていて、国立大学で唯一の体育大学という点、施設が充実している点に惹かれました。

Q2: 今頑張っていること、目標は?

特に部活(サッカー)を頑張っています! チームとしては九州社会人リーグ優勝、個人としては一つでも多くの試合に出ることを目標にしています!

Q3: 好きな授業はなんですか?

体育学実験です。他の大学ではできない、フォースプレートを使って自分の走りをデータ化して分析することなどができます。その他の運動に関しても最新の機器を使用して分析ができるのでとても魅力的な授業だと思います!

Q4: 鹿屋体育大を目指す人に一言!

スポーツに勉強に集中できる環境が揃っていると思います。体育・スポーツの分野に夢や目標を持っている皆さん、鹿屋体育大と一緒に頑張ってください!

— 体育学部 —
— スポーツ総合課程 4年 —

升方 美優



MASUKATA Miyu

Q1: なぜ鹿屋体育大に?

鹿屋に入学する前から、アメリカの大学院のAthletic Training Programへ留学したいと思っており、運動生理学や栄養学などアスレティックトレーナーに必要な基礎的な知識を身につけるために、本学への編入を決めました。

Q2: 今頑張っていること、目標は?

現在は、本学の授業に関する勉強に加え、部活動やTOEFL対策に取り組んでいます。目標は、卒業後志望する大学院のProgramに入学することです!

Q3: 好きな授業はなんですか?

関連実技の授業です。弓道など今までやったことのないスポーツや運動も経験できます。

Q4: 鹿屋体育大を目指す人に一言!

自然豊かな環境で勉学や部活動に励むことができます。スポーツに関することを学びたい人や競技を継続・向上させたい人には最高の環境だと思います。鹿屋への入学を目指しておられる方は、ぜひお越しください!



私の時間割<2年後期>

	月	火	水	木	金
1限	道徳の理論と指導法	歴史学(1-8週) 社会学(9-16週)	保健体育科 教育法Ⅱ		アスレチック リハビリテーション 論
2限	教育心理学	情報処理B①	学校保健	トレーニング 科学概論	スポーツ産業論
3限	ソフトボール②	英語Ⅱ	運動学概論(1-8週) コーチ学概論 (9-16週)		競技 スポーツ論・ 実習Ⅱ サッカー
4限	教育方法・技術			特別活動論(1-8週) キャリアデザインⅢ (9-16週)	
5限					

■平成31年度入学(一般入試) ■東京都立国分寺高等学校出身・東京



私の時間割<3年後期>

	月	火	水	木	金
1限	スポーツ 栄養学	スポーツ指導 実践概論 (1-8週)			運動生理学
2限		スポーツ 心理学	身体発育 発達論	トレーニング 科学概論	スポーツ 産業論
3限	体力 トレーニング		体育学実験Ⅰ	弓道①	競技 スポーツ論・ 実習Ⅱ バスケットボール
4限		ジョギング& ウォーキング	施設・用具・ プログラム論①		
5限			体育学実験Ⅰ		

集中講義: セミナールⅡ
■令和2年度入学(第3年次編入) ■富山高等専門学校出身・富山

G RADUATE SCHOOL OF PHYSICAL EDUCATION

大学院体育学研究科(体育学専攻)の目的

鹿屋体育大学大学院体育学研究科(体育学専攻)は、スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した学力を培い、スポーツ文化の進展及び国民の健康増進に寄与することを目的としています。

多様な教育プログラム

さまざまなニーズに対応した多様な教育プログラムのもと、多様な人材の入学をお待ちしております。

国立スポーツ科学センター (JISS) との連携大学院(博士後期課程)

国立スポーツ科学センターを主な勉学の場として、同センターの特色を生かした授業科目の履修及び研究指導を受け、鹿屋体育大学大学院の博士(体育学)の学位取得を目指すものです。



鹿屋体育大学



体育学・スポーツ科学 連携大学院教育プログラム(博士後期課程)

本学大学院体育学研究科(博士後期課程)を中心として、体育系の修士課程を有する熊本大学と鹿児島大学、宮崎大学の大学院教育学研究科とが連携・協力して、鹿屋体育大学大学院の博士(体育学)の学位取得を目指すプログラムです。



筑波大学との共同専攻

スポーツ国際開発学共同専攻 (修士課程)

スポーツというツールを用いて、国内外で生じている課題の解決に貢献できる人材の育成を目指す修士課程です。本学と筑波大学・日本スポーツ振興センターの3機関が共同して、スポーツを通じた国際開発と平和に関する実践的能力を養う教育プログラムを提供します。



大学体育スポーツの充実のために、教育指導と研究の循環を高度に展開できる能力育成を軸とした教育指向型の博士課程です。本学と筑波大学とが共同設置しており、一部の科目を除き、遠隔講義システムを利用して、それぞれの大学で開講する授業を受講することができます。

大学体育スポーツ高度化共同専攻 (後期3年の課程のみの博士課程)

大学院生からのメッセージ

指導現場で経験を積みながらの研生活

私は指導現場で実践的な活動に取り組みながら、バスケットボールの研究に励みたいと思い、本学の大学院に進学しました。学部時代からバスケットボール部でコーチとして活動しており、より経験と知識を積み上げるために戦術及びコーチングに関して研究をしています。

本学では、最先端の分析ソフトであるSports Codeを使用することができ、主体育室には天井カメラや遅延カメラなどの機器も充実しています。本学での経験を活かし、海外で活躍するコーチになることを目標とし、努力を続けています。

池谷 智明

IKEGAYA Tomoaki

- 大学院体育学研究科 体育学専攻(修士課程)2年
- 静岡県立 島田高等学校出身・静岡



就 学 生 生 活 職 生活

CAMPUS LIFE & CAREER SUPPORT

学生宿舎紹介

学生宿舎は、大学敷地の一角に位置し、1棟70名収容の建物を5棟設けています。部屋はすべて個室(約6畳)で、収容人員は350名(男子280名、女子70名)、現在、在学生全体の約4割の学生が入居しています。棟内は、居室のほか、各階に共用施設として補食談話室、洗面、洗濯室、浴室、トイレ等があります。

寄宿料等は、1ヶ月当たり13,800円(寄宿料4,300円、運営費6,500円、居室電気料3,000円)です。規則正しい生活を送ることができるように、学部1年生から3年生については学生食堂での朝食摂取を入居の条件としています。

朝食代:年額75,600円(令和3年度)、年度当初に前納(理由がある場合は、事前の欠食届提出により返金)

寝具類(掛・敷布団、毛布、枕、シーツ及びカバー)は、衛生管理面を配慮して入居者全員分を大学指定の業者からリースしています。消耗品(トイレトーパー、指定ゴミ袋、ゴミ袋、食器用スポンジ・洗剤、居室用蛍光灯)は入居者から徴収している運営費で購入しており、管理人室で払い出します。



居室
居室は、すべて個室(洋室)になっています。広さは約10㎡(長方形で約6畳)です。



学生宿舎 Q&A

Q. 入居選抜方法について

A ■ 新生入生においては、(1)学生宿舎生活の支障の有無、(2)自宅から大学までの距離及び交通手段、(3)家庭状況及び経済状況、について勘案して選考を行います。加えて2年生からは、各種宿舎行事への出席状況や、日頃の生活態度なども審査対象になります。学生宿舎の入居許可期間は1年間(4月~翌年3月)ですので、入居後も毎年度選考を行います。

Q. 自動車の乗り入れについて

A ■ 学生宿舎には約150台分の入居者用駐車場があります。駐車場の利用は許可制ですので、学生宿舎管理人室で駐車場の空き状況を確認し、申請書類を提出することで利用できます。なお、利用できるのは原則学部2年生以上で、学生宿舎から大学へ自動車を通学することはできません(大学と隣接しているため、徒歩で通学可能です)。

Q. 周辺アパートについて

A ■ 大学周辺には学生向けアパート等が点在しており、家賃は、地域、部屋の設備等により異なりますが、6~8畳のキッチン、バス、トイレ付きで、25,000円~40,000円程度です。大学から5kmほど離れた西原地区は、家賃相場が多少上がりますが、スーパー、コンビニ等が大学周辺より多く生活至便です。

学生宿舎利用者



徒歩 5 分 自転車 3 分

新垣 慶晃

■1カ月の生活費

家賃	13,800円
食費	25,000円
交通費	3,000円
部費	20,000円
日用品	5,000円

計..... 66,800円

■1日の流れ (課外活動のある日)



Q1: 寮の良さは何ですか?

- ・大学からの距離が近いこと、朝食が義務化されているため欠かさず食べられること。
- ・門限が設定されていないため、必要な時に外出できる。
- ・アパートと比べて家賃、光熱費が格段に安い。

Q2: 学生生活の楽しみは?

- ・授業、私生活共に自分で考えて組み立てていけるので、自由時間が増えたこと。

Q3: お気に入りの場所やお店を教えてください

- ・孔雀 (ボリューム満点でおすすです!)

Q4: 休みの日は何をしていますか?

- ・主に部活動での疲労を抜くために、読書や映画鑑賞をしてゆっくりしている。
- ・余裕がある日には釣りやサイクリングをしている。



アパート・マンション利用者



原付 13 分

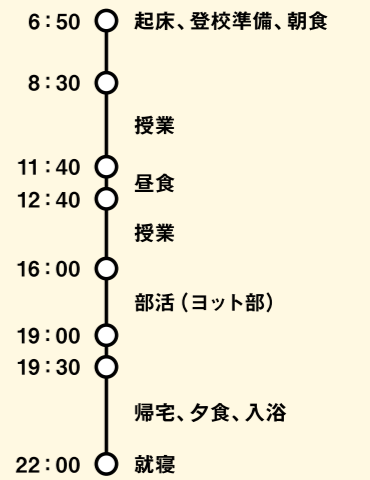
寺尾 碧

■1カ月の生活費

家賃	38,500円
光熱費	8,000円
交通費	1,000円
日用品	1,300円
食費	13,000円
部費	10,000円
貯金	20,000円

計..... 91,800円

■1日の流れ (課外活動のある日)



Q1: アパートの良さは何ですか?

- ・時間やお金の使い方を自分で管理することで、将来自立した生活をおくる練習になる。
- ・スーパーの近くに住むことにより、すぐ買い物に行くことができる。
- ・学生寮のように共有で使用することがないため、自分が好きな時に好きなことができる。

Q2: 学生生活の楽しみは?

- ・自分が好きなことに熱中することができる (勉強・部活)。
- ・様々な県の友達ができる。

Q3: お気に入りの場所やお店を教えてください

- ・海洋スポーツセンター (部活動の活動場所)。
- ・リオンダイナー (ハンバーガー店)。

Q4: 休みの日は何をしていますか?

- ・スーパーへ買い物に行く。
- ・先輩や友達とご飯に行く。
- ・近くの公園に遊びに行く。
- ・部屋を掃除する。



COMMUNITY SERVICE FACILITIES

福利厚生

キャンパス内には、学生・教職員の健康の保持・増進を図るための施設として「保健管理センター」があるほか、福利厚生に資するため食堂、売店、理・美容室、ATMなどがあります。また、学生の憩いの場として「学生ラウンジ」を設け、学生相互のコミュニケーション等に利用されています。



保健管理センター

保健管理センターは、学生及び教職員の保健管理に関する専門的業務を行い、心身の健康の保持増進を図るための施設です。ここでは、通常医師及び看護師が在室し、学内で発生したケガ等に対する応急処置、健康及び精神衛生に関する相談・助言並びに保健指導のほか、定期健康診断等も行なっています。また、リハビリテーションに必要な機器も備えてあり、リハビリを行うこともできます。



学生食堂

食堂は明るく開放感があり、多くの学生が利用します。朝食はバイキング方式で朝練後の学生や授業に向かう学生でにぎわいます。また、昼食はアラカルト方式になっており、好みのメニューを選ぶことができます。このほか、ランチバイキングやカレーフェアといったイベントも企画しています。なお、令和3年6月現在は新型コロナウイルス感染予防のため、朝食・昼食ともにアラカルト方式となっています。



学生ラウンジ 売店 理・美容室 ATM 合宿研修所 ロッカー室

学費 SCHOOL EXPENSES

入学科等(令和3年度実績)

区分	金額	納入時期
入学科	282,000円	入学手続時
授業料	前期 267,900円	4月30日まで
	後期 267,900円	10月31日まで
その他経費(各種保険料等)	80,660円	入学手続時

学費の免除

1. 高等教育の修学支援新制度

令和2年度から、住民税非課税世帯またはそれに準ずる世帯の学生向けに、授業料・入学料の減免に、給付型奨学金の支給をセットにした新制度が開始されました。申込については、高等学校等での予約採用のほか、入学後の在学採用によっても申込みことができます。(新制度の非対象者や大学院生には、大学独自の入学料免除・授業料免除制度があります。)

2. 入学料特別免除

入学前の競技成績(大学院の入試成績)の特に優れた者に対し実施します。AO(SS)入学者は全員、推薦入試入学者は競技成績により選考(申請不要)。

3. 授業料特別免除

在学中の競技成績又は学業成績の特に優れた者に対し実施します。

傷害保険 CASUALTY INSURANCE

教育研究活動中の不慮の災害事故の補償や、課外活動中・往復中の事故の補償のほか、他人への賠償等のために、次のような各種傷害保険を準備しています。

学生教育研究災害傷害保険	保険料：3,300円(4年間) 1,750円(2年間)
学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険	保険料：1,360円(4年間) 680円(2年間)
<p>学生が体育実技や実験実習等の正課の授業中、学校行事、課外活動中等、教育研究活動中の事故や通学中等の事故によって被った傷害に対して、補償する制度。本学では、学生が安心して学業に励むことができるように入学期に全員加入していただいています。</p>	
スポーツ安全保険	保険料：7,400円(4年間) 3,700円(2年間)
<p>課外活動団体等でスポーツ活動、指導活動等を行う者がその活動中や往復中に生じた事故によって傷害を被った場合や他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして損害賠償責任を負った場合、補償する制度。本学では、学生が安心して課外活動ができるよう学部生は入学時に全員加入していただいています。</p>	
傷害総合保険	<p>保険料(4年間)</p> <p>一人暮らしA_57,870円 自宅学生D_49,860円 一人暮らしB_50,070円 自宅学生E_42,060円 一人暮らしC_44,930円 自宅学生F_36,920円</p>
学研災付帯学生生活総合保険	<p>保険料(4年間)</p> <p>自宅A_56,610円 一人暮らしD_64,190円 自宅B_41,220円 一人暮らしE_48,800円 自宅C_36,790円 一人暮らしF_44,370円</p>
<p>教育研究活動中のみならず日常生活で生じたさまざまな事故に対して、総合補償する制度。損害賠償制度や学費・育英費用にも対応しており、加入は、任意となっています。</p>	

※令和3年4月現在

経済支援 ECONOMIC SUPPORT

鹿屋体育大学修学支援基金

寄付金及びその運用により構成される「鹿屋体育大学修学支援基金」を創設し、経済的理由により修学が困難な学生の支援を行っています。

- ① 授業料、入学料又は寄宿料の全部又は一部を免除する事業
- ② 学資金を支給する事業
- ③ 学生の留学に係る費用を負担する事業 等

特別奨学金(本学独自の奨学金)

学資負担者の死亡・失職等の理由により、経済的に著しく困窮し、かつ修学態度が良好である学生に対して、「特別奨学金(20万円)」を給付します。

日本学生支援機構

① 給付奨学金

高等教育の修学支援新制度のひとつとして、人物・学業ともに優れ、経済的な理由により著しく就学困難と認められる者に給付される、返還の必要のない奨学金。

② 貸与奨学金(第一種：無利子、第二種：有利子)

人物・学業ともに優れ、経済的な理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。

③ 入学時特別増額貸与奨学金(有利子)

日本政策金融公庫の教育ローンを低所得を理由に受けられなかった世帯向け。人的保証制度に代わる機関保証制度により、保証人がいない場合でも一定の保証料を支払うことにより奨学金を貸与されることがあります。

鹿屋体育大学 日本学生支援機構奨学生数一覧

学部							
入学年度	学生数 a	一種	二種	併用(一種+二種)内数	貸与人数 b	貸与人数 b/a	給付奨学金受給者
H29	199	49	61	13	97	49%	30
H30	195	69	54	15	108	55%	36
R1	179	51	52	13	90	50%	29
R2	179	49	53	19	83	46%	28
合計	752	218	220	60	378	50%	123
大学院							
入学年度	学生数 c	一種	二種	併用(一種+二種)内数	貸与人数 d	貸与人数 d/c	
H30	7	2	1	1	2	29%	
R1	27	9	3	2	10	37%	
R2	21	6	1	0	7	33%	
合計	55	17	5	3	19	35%	

(注) 地方公共団体や民間の育英奨学事業団体等の奨学金もあります。



4

新入生歓迎会

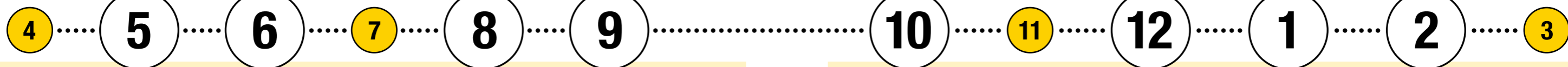
鹿屋の地に早く慣れ親んでもらうことを目的に、入学式後に地元鹿屋市の皆さんによる新入生歓迎会が開催されます。歓迎会では、かんぱちや黒牛、黒豚などの地元の特産品を用いた料理が振る舞われるほか、様々な歓迎イベントが行われます。

- 新入生オリエンテーション
- 入学式
- 新入生歓迎会
- 前期授業開始
- 新入生合宿研修
- 競技力向上の会



○ 体育会定例総会

○ 第3年次編入学試験
○ 夏季休業開始
○ 学期末試験



7



- 大学説明会・体験授業
- 交通安全等講習会



○ 大学院共同専攻入試



11

学園祭「蒼天祭」

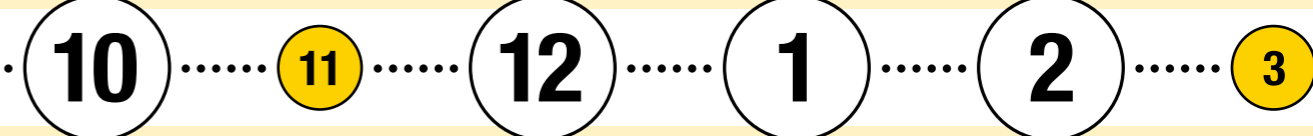
蒼天祭では、模擬店のほか、本学名物のマッスルコンテストや豪華景品が当たるビンゴ大会など毎年趣向を凝らしたイベントが行われ、学外から多くの方が来場されます。また、スポーツパフォーマンス研究センター(詳細35頁)の見学・体験や研究成果等のパネル展示も行われ、本学の教育・研究に触れていただく場にもなっています。

- 健康セミナー
- 学校推薦型選抜及び特別入試
- 学園祭「蒼天祭」



○ 体育会定例総会

○ 学期末試験
○ 競技成績報告会
○ 学生リーダーズセミナー
○ 一般選抜・私費外国人留学生入試



- 開学記念日
- 後期授業開始
- 総合型選抜(SS)入試第2次選考
- 大学説明会
- 大学院体育学専攻入学試験

○ 大学入学共通テスト



3

卒業論文発表会

学部生は卒業論文が必修となっており、4年の後期に、指導教員のもと研究してきた成果の発表を行います。発表会では教員や学生と質疑応答が交わされます。

- 卒業証書授与式、学位記授与式

INTERNATIONAL EXCHANGE PROGRAM

国際交流

本学は、下の地図に示す10の大学と大学間交流協定を結んでいます。このうち、上海体育学院(中国)、韓国体育大学校(韓国)、国立体育大学(台湾)、天津体育学院(中国)の4つの大学と学生交流(交換留学)を行っています。交換留学生は、学内で選考し決定しますが、交換留学の期間は1年以内で、派遣留学生数は1大学につき2名までとなっています。

交換留学の意義を考慮し、留学先で修得した授業科目等の単位をできる限り本学で取得した授業科目として認定するための取扱いも定めています。

なお、留学先での奨学金賞与を希望する場合は、独立行政法人日本学生支援機構の「第二種奨学金(短期留学)」制度に申し込むことができます。

この他、ハワイ(アメリカ)、シドニー(オーストラリア)における短期研修を実施しています。

外国人留学生在籍状況(令和3年5月1日現在) 単位:人

国・地域	学生区分別内訳					計
	大学院生	学部学生	特別聴講学生	研究生	科目等履修生・聴講生	
中国	4	1		1	1	7
台湾	1					1
アルゼンチン		1				1
バングラデシュ	1					1
計	6	2	0	1	1	10

※「特別聴講生」は、交換留学制度により交流協定大学から本学へ留学している学生です。

大学間交流協定状況(令和3年5月1日現在)



Distribution Map of Participants



鹿屋体育大学国際スポーツ・アカデミー形成支援事業

文部科学省が公募した「スポーツ・アカデミー形成支援事業」に申請して採択された事業で、平成26年度から令和2年度の7年間取り組み、短期国際セミナーを合計10回開催しました。

本事業は、日本を含むアジア諸国におけるオリンピック教育プログラムの開発と、アジア各国にグローバルな人材を育成することを目的として、国内外の大学や関係機関と連携しながら、主にアジア諸国の大学院レベルの学生や、各国のオリンピック委員会からの推薦が得られるトップコーチ、指導者が延べ162名参加しました。

交換留学参加者からのメッセージ

私は、2019年2月から一年間、台湾桃園市にある台湾国立体育大学に留学しました。同大は野球やバスケットを中心に多くの部活動が台湾トップレベルの成績を誇っています。また、競技だけでなく、マーケティングやスポーツ振興の分野にも力を入れており、スポーツを多様な視点から学べる環境になっています。私はレジャー産業学部という学部所属していました。台湾ではアウトドア産業が盛んで同大学では一つの学部として成り立っています。また、障害者スポーツ、スポーツメディアなどに特化したコースもあり、きっと興味を惹かれる授業が見つかると思います。時には困難なこともあります。留学での経験は人生の中で大きな財産になると思います。皆さんもぜひ留学を考えてみてください。

岩谷 広大

IWAYA Kodai

体育学部スポーツ総合課程 令和2年3月卒業
名古屋リゾート&スポーツ専門学校出身



留学生からのメッセージ

私たちは、韓国体育大学校から1年間の交換留学生として鹿屋体育大学に来たオヒソン、チェジョンインです。鹿屋体育大学には、韓国体育大学校から毎年2人の交換留学生が留学し勉強しています。私たちは、鹿屋体育大学の素晴らしい教育環境でスポーツだけでなく日本の文化も直接見て感じながら学んでいます。また、中国、台湾などの留学生だけではなく、日本人学生と交流し、世界を見る視野がさらに広がったと思います。皆さんもぜひ、鹿屋体育大学に来て一緒に楽しみましょう!

吳 喜宣 崔 貞仁

OH HEESUN

CHOI JEONGIN

2019年度特別聴講生 所属大学:韓国体育大学校



私は上海体育学院からの交換留学生、严妍(ゲンケン)です。鹿屋体育大学では、たくさんの友達ができ、たくさんの新しい知識を学び、中国と日本の間のスポーツ発展状況の違いも学びました。日本に着いたばかりの頃は日本語が上手ではありませんでしたが、先生方やクラスメートは、喜んで私と一緒に交流して日本語を教えてくれるのでとても感謝しています。鹿屋体育大学では学習面や生活面の日常の多くの活動を支援してくれるだけでなく、留学生に日本文化を体験する機会を提供してくれるためとても充実した留学生活を送ることができました。ぜひ鹿屋体育大学へ来てください。

严 妍

YAN YAN

2019年度特別聴講生 所属大学:上海体育学院



大学は我々のステージである。大学は勉強することだけではなく、将来に向けて人生の可能性を広げる所だと思っています。鹿屋体育大学に入学したら、まず、目標を立てることが重要です。卒業までに、どのような人になりたいかを考えなければなりません。部活や資格免許を取るなど、なんでもいいので、その目標を達成するために努力していくべきだと思います。そして、留学生としての特有な力を生かして、色々な活動に積極的に参加した方がいいと思います。鹿屋体育大学の先生、先輩方は色々優しく手伝ってくれます。

鹿屋体育大学は自然に囲まれた所であり、やりたいことに集中できます。スポーツが好き、人、体育を勉強したい人、ぜひ鹿屋体育大学へ来てください。

劉 曉通

LIU XIAOTONG 体育学部 スポーツ総合課程3年



就職支援

キャリア形成支援センター

キャリア形成支援センターは、就職やキャリア形成について学生の皆さんをサポートするためのセクションで、以下の設備等を備えており、学年に関係なくだれでも利用できます。

- インターネットにより就職情報等を検索できるパソコン(2台)
(利用時間/8:30～17:15)
- 求人資料、各種就職専門書・専門雑誌、資格試験雑誌等
- 貸出用就職関係図書

また、キャリア形成支援センターには、就職相談員を配置し、就職相談に対応しています。

就職支援事業等(主なもの)

1 年次	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅠ <input type="checkbox"/> キャリアデザインⅡ <input type="checkbox"/> インターンシップ事前勉強会 <input type="checkbox"/> 教員採用・公務員模擬試験
2 年次	<input type="checkbox"/> キャリアデザインⅢ <input type="checkbox"/> 企業実習 <input type="checkbox"/> インターンシップ <input type="checkbox"/> 就職活動・採用試験報告会 <input type="checkbox"/> 就職塾 <input type="checkbox"/> 教員採用・公務員模擬試験
3 年次	<input type="checkbox"/> キャリアセミナー <input type="checkbox"/> キャリアコミュニケーション <input type="checkbox"/> キャリア対策セミナー <input type="checkbox"/> 企業実習 <input type="checkbox"/> インターンシップ <input type="checkbox"/> 学内企業説明会 <input type="checkbox"/> 学外合同企業説明会 <input type="checkbox"/> 就活スタートアップ講座 <input type="checkbox"/> 自己分析・自己PR作成講座 <input type="checkbox"/> 業界・企業研究セミナー <input type="checkbox"/> SPI対策講座 <input type="checkbox"/> 面接・グループディスカッション対策講座 <input type="checkbox"/> 就職塾 <input type="checkbox"/> 教員採用・公務員模擬試験
4 年次	<input type="checkbox"/> 教員採用・公務員模擬試験 <input type="checkbox"/> 教員採用試験直前対策 <input type="checkbox"/> 教育実習 <input type="checkbox"/> 模擬面接 <input type="checkbox"/> エントリーシート・履歴書の添削



教員対策・公務員対策

模擬試験を年数回実施しています。また、希望者に対しては、模擬面接も随時実施しています。



就職塾

年数回、休日を利用して外部講師を招いて「就職塾」を開講しています。この企画では、職業選択や自己分析についてアドバイスいただくとともに、履歴書の書き方や面接の心構えについても指導してもらいます。



学内企業説明会

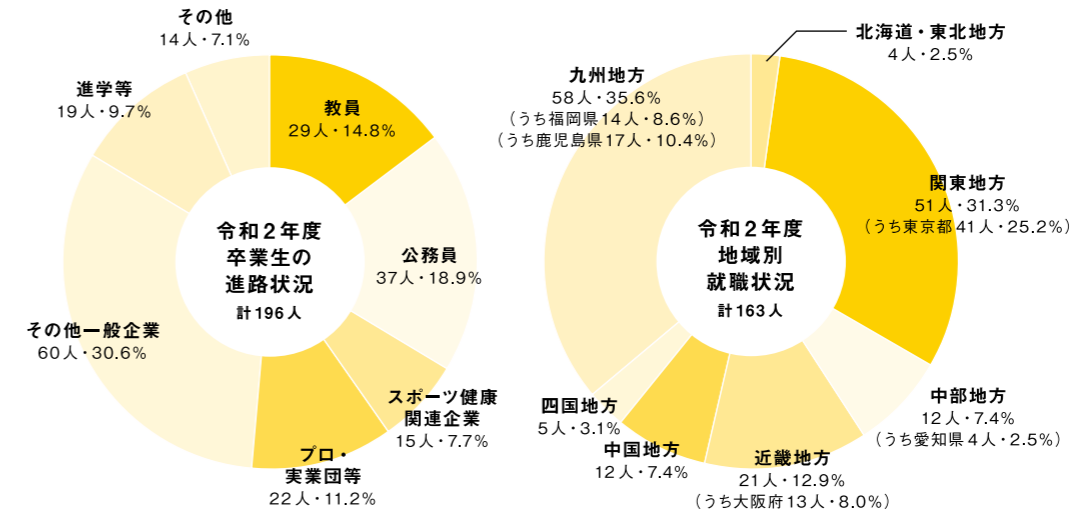
学内にて企業の採用担当者による企業説明会を開催しています。



合同企業説明会

年1～2回福岡市で開催される合同企業説明会に、借り上げバスを利用して「日帰りバスツアー」を行います。

就職実績



卒業・終了後の進路状況等は
このQRコードへアクセス願います

主要就職先

過去5年間の主な就職先・進路先<平成28年度～令和2年度>

教員(臨時的任用教員・非常勤講師を含む)

東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、山口県、香川県、福岡県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県 ほか31都府県

公務員

[行政職] 福井県、伊勢崎市、岡谷市、藤枝市、福山市、呉市、土浦市、佐賀市、日置市、垂水市、鹿屋市、志布志市、大崎町、錦江町、那覇市、名護市、ほか全20自治体[警察官] 警視庁、神奈川県警、三重県警、大阪府警、兵庫県警、広島県警、岡山県警、福岡県警、佐賀県警、長崎県警、熊本県警、大分県警、宮崎県警、鹿児島県警 ほか全26都府県[刑務官] 東京拘置所、札幌刑務所、甲府刑務所、岐阜刑務所、加古川刑務所、北九州医療刑務所、長崎刑務所、釧路刑務所、熊本刑務所、大分刑務所、鹿児島刑務所[消防士] 東京消防庁、前橋市、福井市、名古屋市、大阪市、堺市、広島市、一宮市、新居浜市、福岡市、久留米広域消防本部、佐世保市、大隅肝属地区 ほか18自治体[その他] 陸・海・空自衛隊、自衛隊体育学校、青年海外協力隊、県体育協会 ほか

スポーツ関連企業

上尾メディックス、アシックスジャパン、ヴィッセル神戸、FC琉球、カープスジャパン、(株)LAVA international、カマタマーレ讃岐、キャノンデール・ジャパン、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅、THINKフィットネス、01EGG.Fitness、セントラルスポーツ、太陽スポーツクラブ、太陽フィットネスクラブ、チャコット、ドーム、ドームヒューマンキャンパス、阪神タイガース、東大阪スタジアム、広島東洋カープ、松本山雅FC、ミウラ・ドルフィンズ、ミズノ、モンベル、RIZAP(株)、リーフラス、ルネサンス ほか約100社(敬称略)

プロ・実業団等の選手

[サッカー] アスルクラロ沼津、アビス福岡、愛媛FC、FC大阪、大分トリニータ、鹿児島ユナイテッドFC、ギラヴァンツ北九州、サガン鳥栖、湘南ベルマーレ、テゲバジャーロ宮崎、徳島ヴォルティス、ブラウブリッツ秋田、

松江シティ FC ほか[自転車] 愛三工業レーシングチーム、ヴィクトワール広島、宇都宮ブリッツェン、KINAN Cycling Team、Ciel Blue鹿屋、シマノレーシング、TeamUKYO、UVCA Troyes Fem、レバンテフジ静岡[漕艇] 榊陽進堂[体操競技] セントラルスポーツ、徳洲会体操クラブ[テニス] 九電みらいエナジー [バスケットボール] AC播磨イーグレッツ、OTCさくや、紀陽ハートビーツ、新潟アルビレックスBBラビッツ、山形銀行Lyers、山梨クイーンビーズ、レバンガ北海道 ほか[バレーボール] 上尾メディックス、大野石油広島オイラーズ、黒部アクアフェアリーズ、トヨタ車体クインシーズ、PFUブルーキャッツ、富士通テンドフェニックス、マックスバリュ・ビクトリーナ ほか[プロレス] 新日本プロレス[野球] 高知ファイティングドッグス、西部ガス(株)、大福ロジスティクス[陸上競技] キャノンアスリートクラブ九州、京セラ、資生堂、TOTO、長谷川体育施設(株)(敬称略)

その他の一般企業

ANAエアポートサービス、ANA新千歳空港、一条工務店、伊予銀行、NTTコムエンジニアリング、鹿児島銀行、河合楽器製作所、京都西川、コカ・コーラボトラーズジャパン、サントリービバレッジサービス、JFEスチール、JR九州、JTB、城山観光、Sky、スズキ、スターフライヤー、スポーツフィールド、住友不動産販売、住友林業、積水ハウス、第一生命、大樹生命保険、大東建託、TOS International、TOSテレビ大分、東和薬品、長島観光開発、南九州農場、西日本鉄道、日本通運、日本生命、日本防蝕工業、日本マクドナルド、パロマ、福岡銀行、フジドリームエアラインズ、富士ゼロックス大阪、北海道新聞社、ホテルリステル、ホリプロ、マイナビ、明治安田生命、大和ハウス工業、横浜銀行、楽天、琉球銀行 ほか約270社(敬称略)

進学

筑波大学大学院、信州大学大学院、埼玉大学大学院、愛知教育大学大学院、大阪大学大学院、広島大学大学院、熊本大学大学院、九州大学大学院、鹿屋体育大学大学院 ほか

就職活動体験談

最後まで諦めず前向きに!

私は、12年間続けてきたサッカーで培った体力と精神力を活かし、人の役に立つ仕事がしたいと考え、東京消防庁を志望しました。勉強を始めた当初は、模試の判定も悪くとても不安でしたが、就職相談員やキャリア形成支援室の手厚い指導とサポートのおかげで、合格することができました。

いざ就職活動してみると、自分自身と向き合えなければいけない分辛いことも多いと思います。でも、絶対に今後の自分の為になります!

そして、就職活動を通じて成長した自分に出会えるはずです。

ぜひ、最後まで諦めず前向きに頑張ってください!

西澤 和馬

NISHIZAWA Kazuma

- スポーツ総合課程 令和3年3月卒業
- 長野県長野南高等学校出身・長野
- 勤務先: 東京消防庁





自分を変えられる場所

私は今、セントラルスポーツ株式会社に就職し体操競技を続けています。鹿屋には娯楽施設などが少ないため、自然と練習に集中することができました。また、素晴らしい施設や熱心な指導をしてくださる先生方、苦楽を共にする仲間たちがいます。本気で成長したいと思っているのなら、鹿屋は最高の場所になると思います。

4年間はあっという間に過ぎていきます。自分の可能性を信じ諦めずに努力してください。応援しています！

セントラルスポーツ株式会社

前野 風哉 MAENO Fuya

スポーツ総合課程 平成31年3月卒業
船橋市立船橋高等学校出身・千葉

とことん自己探求できる場

推薦入学した私は4年間水泳部にて競技に打ち込みました。日々泳ぐ中で、パフォーマンス向上に繋がる方法を模索することが日常的になり、それを探求するうちに博士課程まで進学しておりました。スポーツと研究は、良いときも悪いときも結果を客観的に分析するなど共通点も多く、その過程を経て一つのことをやり遂げたときにやりがいを感じます。その能力を伸ばせる環境が鹿屋体育大学には整っていました。そして研究員として社会に出て、競技生活で培われた思考やマインドが様々な方と共創する上で強みとして働くことを実感しております。

産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 共創場デザイン研究チーム 特別研究員

鷺野 壮平 WASHINO Sohei

体育学部スポーツ総合課程 平成26年3月卒業
大学院体育学研究科修士課程 平成28年3月修了
大学院体育学研究科博士後期課程 平成31年3月修了
鈴鹿工業高等専門学校出身・三重



学びの多い4年間

鹿屋体育大学の魅力はたくさんの県から学生が集まること、様々な競技のトップアスリートが集まることです。本当に色々な人がいるので、話を聞いているだけで自分自身のモチベーションがあがりますし、学ぶことも沢山あります。同級生や先輩、後輩から学んだことが今の社会人としての私の土台となっています。

自分の成長の機会はどこに落ちているか分かりません。常にアンテナを張って実りのある大学生活にしてください！

琉球銀行

上地 星菜 UECHI Hoshina

武道課程 令和3年3月卒業
沖縄県立首里高等学校出身・沖縄

社会人になった今でも

鹿屋体育大学で過ごした4年間は半分以上が竹刀を握って過ごしました。大学の施設や環境、素晴らしい先生方のご指導もあり、部活動に精一杯取り組むことができました。その4年間の頑張りが、就職活動や今の仕事に繋がっています。大学生という貴重な時間は基本的には4年しかありません。夢を思い描き、仲間と切磋琢磨し合い、がむしゃらに頑張る貴重な時間はこれから必ず皆さんの力になります。夢に向かって頑張ってください。



NTTコミュニケーションズグループ
NTTコム エンジニアリング株式会社

渡邊 桃子 WATANABE Momoko

武道課程 令和2年3月卒業
筑紫台高等学校出身・福岡

今の私をつくった場所

私は、幼いころからの夢であった教員になることと、ボート競技で全日本の表彰台に立つという二つの夢を実現させるために鹿屋体育大学に進学しました。世界有数の研究・トレーニング設備だけでなく、国内トップレベルの選手と競技の枠を越えて競い合えた4年間は、私にとってかけがえのないものとなりました。そのおかげで、令和2年4月より地元大分県で保健体育科の教諭として採用され日々奮闘しています。競技者としての活動を続けながら、運動が苦手な子どもたちにその魅力を伝え、次世代のアスリート育成に取り組める今の環境に充実感を持っています。同志のあなたが後輩になってくれることを願っています。

大分市立王子中学校 教諭

末次 航平 SUETSUGU Kouhei

スポーツ総合課程 令和2年3月卒業
大分県立日田高等学校出身・大分



CAMPUS AND FACILITIES



① ゴルフ練習場

南側の丘陵斜面に設置され、打席数は11、フェアウェイは130m×38mの広さです。



② スポーツパフォーマンス研究センター

スポーツ現場の実践知を科学的エビデンスとして創出し、活動現場へ還元する「スポーツパフォーマンス研究」を推進するための国内初の最先端研究設備を備えた屋内研究施設（詳細は35頁）



③ 合宿研修所

本学学生の合宿研修及び本学の主催する講習会、研修会等に参加する外来者の合宿研修に使用する施設で、講師宿泊室5室、洋室（ベッド数8）9室、和室（15畳、6名収容）6室、があり、計113名が宿泊可能です。その他に、研修室（50名、20名）を2室設置しています。



④ 陸上競技場

全天候型の400mトラックで競技会ができる3種公認競技場です。



⑤ トレーニング場

主に屋外競技用のトレーニング施設で、科学的トレーニングを行うための各種ウエイトレーニング機器等が設置されています。



⑥ サッカー場・ラグビー場

公式競技用としての広さを有し、サッカー場・ラグビー場それぞれ全面天然芝張で照明設備も設置されています。

学生宿舎（19頁参照）



⑦ 野球場

両翼92m、中堅117mあり、スコアボードは本部席から操作できるように判定表示装置が設置されています。



⑧ 附属図書館

附属図書館は、1階に受付カウンター、開架閲覧室、NIFSラコモ（自学自習の場）、2階に開架閲覧室、グループ学習室などを設置しています。一般市民の方々も利用可能です（詳細は36頁）。



⑨ 武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設です（詳細は34頁）。



⑩ 総合体育館（主体育館/1F）

総合体育館は各種公式競技に対応できるよう設計されており、主体育室は球技用としてバスケットボール2面、バレーボール2面、テニス2面、ハンドボール2面、バドミントン8面の競技が可能なスペースを確保できます。その他、体操練習室、ダンス練習室、トレーニング室があります。



⑩ 総合体育館（体操練習室/2F）

体操練習室には、鉄棒、跳馬、あん馬、つり輪、ゆか、平均台、平行棒等の体操競技に必要な器具・設備が設置され、公式競技も可能となっています。



⑪ 球技体育館

室内競技専用の体育館で、バレーボール（バスケットボール）、バドミントン、卓球の専用室があります。



⑫ 屋内実験プール

泳ぎについて科学的に教育研究活動が行えるように最新鋭の設備機器と50m長水路、25mの短水路のコースを備えた日本で唯一の実験プールです（詳細は34頁）。



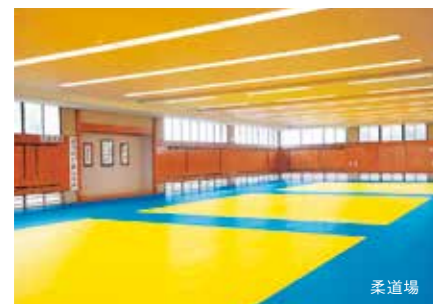
⑬ テニスコート

全面ハードコートで照明設備も設置されています。



屋内実験プール

単に水泳競技用に使用するだけでなく、「泳ぎ」について運動力学、運動生理学的見地から科学的に教育研究活動が行えるよう最新鋭の機器を備えた施設です。1階は、水泳、シンクロナイズドスイミング、高飛び込み競技や50m長水路のプール(8コース)、25m短水路のプール(8コース)のほか、実験研究用コース(3コース:ミラー、ペースメーカー等の実験用器材を設置)、飛び込み台(5m、3m、1m)、可動式床(水深0m~2m調整可)、水泳フォームをあらゆる角度から分析できる加減圧調整可能流水プール、データ解析室等の設備を備えています。2階はミーティングルームのほか、上部からもビデオ撮影及び見学ができるキャットウォークも設置されています。水温は適温に調整され、薬剤注入や滅菌が自動的にできる循環濾過装置も設置されています。



柔道場



剣道場

武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設。1階に柔道場と相撲場、2階に剣道場、武道館に隣接して弓道場があります。

- 柔道場** 公式競技が同時に2面可能な342畳敷の柔道場、さらにサブ道場(136畳敷、ウェイトトレーニング用機器常置)も設置されています。
- 剣道場** 公式競技が2面可能な剣道場及びサブ剣道場があり、床は松材です。
- 相撲場** 武道館1階に設置されています。
- 弓道場** 武道館に隣接しており、6人立ちが可能となっています。



相撲場



弓道場



スポーツパフォーマンス研究センター



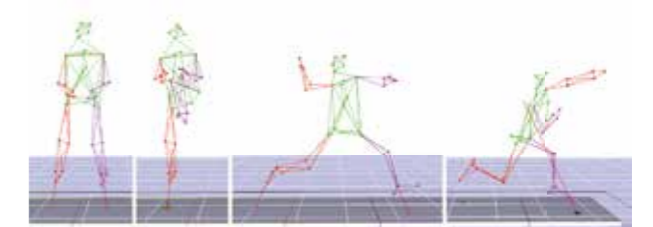
(図1) フォースプレート
走行直線にフォースプレートを54枚設置(スタート地点を含む)
歩行や走行などの動作を行う際の地面反力を測定できる機器



(図2) フォースプレート一体型マウンドおよびバッターボックス
フォースプレート完備のピッチャーマウンド・バッターボックスで、投手と打者の同時測定が可能(写真はマウンド)

スポーツパフォーマンス研究センターは、国内初の最先端スポーツ科学研究設備を備えた学内共同教育研究施設です。スポーツ現場のコツやカンといった『実践知』を科学的エビデンスとして創出・還元するスポーツパフォーマンス研究を推進するため2018年に設置されました。屋内スポーツ実験室には主要設備として、世界最長の50mフォースプレート(図1)、フォースプレート一体型マウンドおよびバッターボックス(図2)、モーションキャプチャシステム(図3)、オブジェクトトラッキングシステム(図4)、ハイスピードカメラ、球質測定システム等の最新の測定機器に加え、可動式カメラ架台、大型モニター2台が設置されています。

スポーツ実験室は約3,500㎡(70m×50m)の広さで、高さ15m、床は人工芝と陸上用のウレタン走路(屋内70m、屋外40m)の最長110mで構成されており、屋外(屋根付き)にはテニスコートが一面併設されています。施設内では、陸上、テニス等の個人種目に限らず野球やサッカー等のチーム種目におけるゲームパフォーマンス分析など多様なスポーツパフォーマンス測定を実施することが可能です。



(図3) モーションキャプチャシステム:
反射マーカの三次元位置情報をデジタルデータとして取得できる機器



(図4) オブジェクトトラッキングシステム:選手に装着したセンサーから座標位置、移動速度、身体の向き、心拍数などの情報を無線方式でリアルタイムに測定可能な機器

附属図書館 Library

附属図書館では、教育研究活動に必要な専門図書や一般教養図書のほか、体育・スポーツ、レクリエーションや武道分野の雑誌、映像資料等DVDも数多く所蔵しています。電子ジャーナル、英文多読に最適な電子図書も利用できます。また、グループ学習室、NIFSラコモもあり、タブレットPCを使ったグループディスカッションなど学生の自学自修の場としても活用できます。



■附属図書館ホームページ
<http://www.lib.nifs-k.ac.jp>



スポーツトレーニング教育研究センター

Center of Sports Training Research and Education

高度な測定機器やトレーニング機器を本センターに集中的に配置し、学内共同利用施設として、教員はもとより学部生や大学院生が自由に施設を活用して、トレーニングの研究や教育を行う場を提供しています。また、各種のトレーニングの意義や効果を科学的に分析・評価するために、様々な研究プロジェクトも行われています。

たとえば、発育・発達段階に応じた一般児童生徒の体力づくりや、ジュニアアスリートのトレーニングの新たな方法を開発するために、地域の小・中・高等学校と連携して体力測定を行い、そのデータに基づいたトレーニングを長期的な視点で行っています。また、様々なスポーツ種目に携わる本学の選手や国内の一流選手を対象として、同様の研究も行っています。これらの研究成果を講習会、学術誌、広報誌などを通じて、学内外に情報発信しています。



国際交流センター

International Exchange and Language Education Center

国際交流センターでは、「スポーツ・異文化理解・語学の3本柱を有機的に結びつけた事業を通して、本学のグローバル化を推進する」というビジョンに基づき、よりよい語学教育カリキュラムの開発・実施、海外の交流協定締結校からの留学生の受け入れ及び本学学生の派遣、米国ハワイ及びオーストラリアシドニーへの海外短期研修プログラム、スポーツ・武道を通じた国際交流活動、留学生と日本人学生の交流活動などを行なっています。

■国際交流センター Facebook
<https://www.facebook.com/IELEC.NIFS>



海洋スポーツセンター

Center for Water Sports and Sciences

海洋スポーツに関する実践的指導者の養成、競技力向上(ヨット、ウィンドサーフィン、カヌースプリント、ボート等)、生涯スポーツ(セーリング、SUP、シーカヤック、スキndaイビング、磯遊び等)の展開といったテーマのもと、理論教育・実践指導・研究活動に取り組んでいます。また、公開講座の開催や関連団体のセンター活用など、施設開放も実施し、学外の海洋スポーツ関係者・団体との交流・研修も行っています。海洋スポーツ各事業・活動・研究成果などの情報を学内外に発信することによって幅広く、海洋スポーツの普及・振興に努めています。



生涯スポーツ実践センター

Interdisciplinary Research Center for Lifelong Sport and Physical Activity

生涯スポーツに関する実践指導と学際的な研究・教育を広く社会との連携を図りながら行うことを目的としています。

主に、人々の各ライフステージに応じた運動・スポーツプログラムの開発・指導、地域のスポーツ振興や健康づくり、地域スポーツプログラムの開発支援、生涯スポーツ指導者の育成支援、運動・スポーツプログラムの地域社会への効果の測定などに関する教育・研究を行っています。



スポーツ情報センター

Information Technology Center for Sports Sciences

情報通信技術を用いた教育と研究を支援するとともに、情報の発信を通じて体育・スポーツの進展に寄与することを目的としています。

キャンパスネットワークやコンピュータシステム、情報セキュリティなど学内のICTに関わる管理・運用とその研究、スポーツにおけるICT活用の支援と研究、三次元動作分析装置や高速度カメラなどスポーツ科学研究機器の貸出や技術支援などを行っています。



EXTRACURRICULAR ACTIVITIES

本学には、現在、22の体育系課外活動団体と1つの研究会があり、ほとんどの学生が加入しています。特に、多くの体育系課外活動団体では、全国規模の大会で優秀な成績を収めるなど、活発な活動を展開しています。課外活動は、学生が自主的に行う活動であり、社会の一員として必要な資質を身に付けたり、教養を高めるなどの大切な役割を担っています。また、課外活動を通じて得られるさまざまな体験は、学生生活をより充実させ、一生忘れることのできないすばらしい思い出にもなります。したがって、学生が各自の関心と適性にあった課外活動団体に所属し、より高い専門的知識や技能を身に付けるために積極的に活動することをお勧めします。



課外活動団体紹介



NIFS プログラム



陸上競技部

部員数：96名(男子65名、女子31名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:00～19:30(土)9:00～13:00
※中長距離は朝練あり

- 主な成績：
- 令和2年日本陸上競技選手権大会 女子走幅跳2位、女子円盤投6位
 - 令和2年日本学陸上競技対校選手権大会 男子1500m・女子5000m・女子走幅跳：優勝

陸上競技部は、5名の教員(コーチ)の指導のもと、各競技ブロックに分かれて精力的に活動を行っています。また、部の運営は学生が主体であり、主将・主事を中心となり、34の役職を、部員のほぼ全員で担っています。



硬式野球部

部員数：72名(男子70名、女子2名)
練習日・時間：(月・火・木)16:00～19:00、19:00～22:00【二班】
(金)16:00～19:00 (土・日)8:30～練習試合等

- 主な成績：
- 令和2年 鹿児島県大学野球秋季リーグ戦 優勝
 - 令和3年 鹿児島県大学野球春季リーグ戦 優勝
 - 令和3年 第105回九州地区大学野球選手権南部九州ブロック大会 準優勝

鹿屋体育大学が誇る最高峰の施設と、最新のスポーツ科学技術を利用して、選手・スタッフ一人一人が当事者意識を持って「魅力的な野球」を創っています。日本一のチームワークを武器に全日本大学野球選手権で勝ち進み、野球界に一石を投じます！



テニス部

部員数：22名(男子11名、女子11名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:30～19:00(土)9:00～13:00

- 主な成績：
- 令和元年度全日本大学対抗テニス王座決定試合 男子団体ベスト8
 - 令和元年度全日本大学対抗テニス王座決定試合 女子団体ベスト8
 - 令和元年度全日本学生室内テニス選手権大会 女子シングルス準優勝

テニス部は、全国王座3位、九州学生テニス選手権大会での部員全員本戦出場を目標としています。目標達成のため、部員各々が主体的に練習に取り組み、明るい雰囲気と競争心を持って部活動に励んでいます。

男子バレーボール部

部員数：6名(男子6名)
練習日・時間：(月・水・木・金)16:15～19:30
(土・日)10:00～13:00

- 主な成績：
- 第1回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜優勝大会 4位
 - 第30回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会 4位
 - 第32回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会 準優勝

男子バレーボール部は、インドアでは九州上位を、ビーチバレーボールでは日本一を目標に日々練習に取り組んでいます。学年関係なく意見を言える環境を作り、部員全員が高い意識を持っているのが特徴です。



女子バレーボール部

部員数：27名(女子27名)
練習日・時間：(火～金)16:15～20:00
(土・日)7:30～11:00、14:30～17:30
※朝練(火～金)6:45～7:15

- 主な成績：
- 平成25年第60回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝
 - 平成28年第63回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝
 - 令和2年第67回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝

女子バレーボール部は、「進化・一帯」を今年度のスローガンに掲げ、日本一を目標に日々活動しています。チーム全員がひとつながりになって常に前進し、感謝の気持ちを忘れない、応援されるチームを目指します。



男子バスケットボール部

部員数：20名(男子20名)
練習日・時間：(月・木)16:20～18:20 (火・金)18:30～20:30
(土)10:00～11:30、13:00～16:00

- 主な成績：
- 平成21年全日本大学バスケットボール選手権大会 ベスト8
 - 平成22年全日本大学バスケットボール選手権大会 ベスト16
 - 平成27年全日本総合選手権大会 出場 一回戦敗退

私たち男子バスケットボール部は「愛し、愛されるチーム」という理念のもと、九州1部リーグ優勝、インカレ出場を目指し日々の練習に励んでいます。マネージャー・プレイヤーどちらも大歓迎です。興味があれば連絡よろしくお願いします。運動能力試験でバスケット部に入学希望の方がいればs191114@sky.nifs-k.ac.jpまでご連絡をお願いします。



女子バスケットボール部

部員数：29名(男子1名、女子28名)
練習日・時間：(月)18:00～20:00(火)17:00～19:00
(水)16:20～18:40(金)17:30～20:00
(土・日)9:30～12:30【場合により午後練習あり】

- 主な成績：
- 平成29年度全日本大学バスケットボール選手権大会 第4位
 - 平成27/28/29/30/31年度 全日本選手権(皇后杯) 出場
 - 令和元年度全日本大学バスケットボール選手権大会 ベスト8

女子バスケットボール部は各自が目標をしっかりと見据えて、競技力だけでなく指導力・審判・運営・学業も含めた向上を目指し、各々のキャリアに関わらず全員一丸となって活動に取り組んでいる元気で明るいチームです。





サッカー部

部員数：93名(男子92名、女子1名)
練習日・時間：(月～金)16:00～18:00
(土・日)9:00～12:00

主な成績：

- 平成25年度全日本大学サッカー選手権大会 3位
- 平成30年度全日本大学サッカートーナメント ベスト8
- 令和元年度天皇杯全日本サッカー選手権大会 3回戦進出

サッカー部は、「勇往邁進」をスローガンに掲げ、より多くの学生の試合経験を増やすことを目的に、3チームに分かれて活動しています。またサッカーの競技活動だけでなく、小・中学生の指導や幼稚園や保育園への巡回指導など、サッカーを通じての人間形成と地域貢献を行えるよう活動しています。



柔道部

部員数：58名(男子47名、女子11名)
練習日・時間：(月・水・木・金)16:20～19:00
(火)17:30～19:30
(土)9:30～12:00

主な成績：

- 令和元年九州学生柔道優勝大会 男子優勝、女子準優勝
- 令和元年全日本学生体重別選手権 女子70kg優勝

今年度柔道部は全日本学生柔道優勝大会、体重別団体選手権の2つの全国大会でベスト8進出を目標に稽古に取り組んでいます。コロナ禍ではありますが、全員の体調を可視化し、徹底管理しながら、目標達成に向け1人1人の競技力向上において日々邁進しています。



※令和2年度部員と社会人チームの写真

ラグビー部

部員数：1名(男子1名)
練習日・時間：(日)10:00～13:00
主な成績：

ラグビー部は、社会人チームに参加させて頂き、日々練習に励んでいます。ラグビーは1つのボールを皆で運ぶスポーツで体と体がぶつかり合う音は見る人をも魅了させます。少しでも、ラグビーに興味がある方は是非ラグビー部へ。



剣道部

部員数：130名(男子96名、女子34名)
練習日・時間：(月～金)概ね17:40～19:40
(土)9:00～12:00

主な成績：

- 全日本学生剣道優勝大会 男子団体優勝4回
- 全日本女子学生剣道優勝大会 女子団体優勝10回

部訓である、「朝銀夕鍊」「主一無適」の精神で学生生活を送る。



体操競技部

部員数：30名(男子26名、女子4名)
練習日・時間：(月・火・水・金)16:15～20:30
(木)16:00～17:15 (土)15:15～19:00

主な成績：

- 令和2年全日本学生体操競技選手権大会 男子団体準優勝
- 令和2年全日本体操種目別選手権 男子あん馬 優勝
- 令和元年W杯ギマランイス大会(ポルトガル) 男子ゆか優勝 あん馬優勝

体操競技部は「至誠通天」をスローガンとし、チーム一丸となって日本一を目指しています。また、選手全員が個々の目標を設定し、その目標達成のために試行錯誤しながら日々練習に励んでいます。



ヨット部

部員数：15名(男子14名、女子1名)
練習日・時間：(月・火・木)16:15～18:30
(土・日)9:00～18:00

主な成績：

- 平成27年度全日本学生ヨット選手権大会 スナイブ級優勝
- 平成30年全日本学生女子ヨット選手権大会 470級3位
- 令和2年度全日本学生ヨット選手権大会 スナイブ級3位

全日本学生選手権での総合入賞を目指し活動しています。個々の活動がチームに好影響を与え、皆で切磋琢磨していきける雰囲気です。これまで以上の成果を発揮できるようチームで上位を目指します。



水泳部

部員数：36名(男子24名、女子12名)
練習日・時間：(月・水・金)16:00～19:00
(火・木)6:00～8:00、16:00～19:00 (土)8:30～12:30

主な成績：

- 2004年アテネオリンピック 女子800m自由形 柴田亜依 優勝
- 2005～2008、2012日本学生選手権 女子団体優勝
- 国際大会代表選手(卒業生を含む) 17名

水泳部は、人格形成と競技力向上を目的に活動しています。国際大会代表選手排出及び日本学生選手権において全選手がベストパフォーマンスを出せるよう日々の練習に取り組んでいます。



漕艇部

部員数：6名(男子2名、女子4名)
練習日・時間：(月～木)16:00～20:30(移動時間含む)
(土)7:30～16:30(月・水)朝練6:30～8:00

主な成績：

- 平成31年度全日本ボート選手権大会女子軽量級ダブルスカル 優勝
- 令和2年度全日本学生ボート選手権大会 女子シングルスカル 第5位
- 令和2年度全日本学生ボート選手権大会 女子ダブルスカル 第4位

漕艇部は、全員がインカレでA決勝に進出し、メダルを取ることを第一の目標とし、全日本選手権でも入賞を目指しています。部の雰囲気は、にぎやかです。お互いを刺激しあって、日々トレーニングに取り組んでいます。



自転車競技部

部員数：30名(男子25名、女子5名)
 練習日・時間：(火～金)16:00～18:00
 (土・日)9:00～15:00
 主な成績：
 ○令和2年度全日本自転車競技大会トラック 女子マディソン 2位
 ○令和2年度全日本学生個人ロードレース大会 男子個人 3位
 ○令和2年度全日本自転車競技大会トラック 男子チームスプリント4位

自転車競技に最適な大隅半島と、大学の測定環境を活用しながら、自らの身体と頭を使って自転車競技を研究し、競技力向上を行います。また、自転車競技を軸とした地域活性化など、社会貢献活動にも力を入れています。

ウインドサーフィン部

部員数：9名(男子6名、女子3名)
 練習日・時間：(月・水・木)16:00～19:00
 (土・日)9:00～16:00
 主な成績：
 ○平成29年度全日本学生ボードセーリング選手権 個人 5位
 ○2018PWAフォイルクラス 世界ユース年間ランキング1位
 ○令和元年全日本学生ボードセーリング選手権 個人 女子8位

個々に目的・目標を掲げると共に、チームでの全日本インカレ入賞、九州選手権での優勝を目標に活動しています。個性あるメンバーと共に和気あいあいとした雰囲気の中、練習に励んでいます。



カヌー部

部員数：20名(男子19名、女子1名)
 練習日・時間：(月～木)16:00～20:00(移動時間含む)
 (土)9:00～17:30(月・水)朝練6:30～8:00
 主な成績：
 ○2020年度日本カヌースプリント選手権大会 男子カナディアンペア200m 優勝
 ○2020年度日本カヌースプリント選手権大会 男子カナディアンペア500m 優勝
 ○第56回全日本学生カヌースプリント選手権大会 男子カヤックシングル200m 優勝

私たちカヌー部は、国際大会で日本代表として活躍すること、全日本学生選手権優勝が大きな目標です。また、自己の鍛錬はもとより、団体活動の中で個性をいかしつつ、部の発展に寄与していくことで、よりよい人格の形成を目指しています。

ゴルフ部

部員数：1名(男子1名)
 練習日・時間：(水)16:00～19:00
 (土・日)15:00～18:00

ゴルフ部は、ゴルフを通じた人との繋がりを大事にして、楽しくプレーすることをテーマに活動しています。大学内には、奥行き140ヤードの練習場があり、練習環境はとて充実しています。人数が少ない中でも精一杯活動して頑張っています。



※令和2年度部員の写真



なぎなた部

部員数：10名(女子10名)
 練習日・時間：(月・火・水・木)16:00～19:00(土)9:00～12:00
 主な成績：
 ○平成30年全日本学生なぎなた選手権大会 団体準優勝・個人優勝
 ○令和元年全日本学生なぎなた選手権大会 団体準優勝・個人優勝

私たちがなぎなた部は、インカレ優勝を目標に、日々稽古に励んでおります。現在のスローガンは「食欲」であり、一人一人が今の自分に満足することなく、今後も目標に向けてチーム一丸となり精進して参ります。

ダンス部

部員数：5名(男子3名、女子2名)
 練習日・時間：(月・火・水・金)16:00～18:00
 主な成績：

- 2018年度 第31回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)創作コンクール部門 出場
- 2018年度 ワールドダンスコンペティション in NIIGATAソロ部門、グループ部門 出場
- 2017年度 アーティスティック・ムーブメント・イン・トヤマ (第20回少人数による創作ダンスコンクール) 出場

ダンス部は、ヒップホップやジャズ、創作ダンスまで幅広いジャンルで活動しています。壁一面に鏡のあるダンス練習室という恵まれた環境で、ダンスを通じた仲間とのつながりや、地域との交流を大切に、様々な身体表現の可能性を追求しています。



セパタクロー部

部員数：5名(男子5名)
 練習日・時間：(月・水)16:00～19:00
 (金)14:30～17:30、19:00～21:00
 (土)13:00～15:00
 主な成績

- 平成21年度全日本学生セパタクロー選手権 男子3位
- 平成27年度全日本ビギナーカップ 男子準優勝
- 平成28年度全日本セパタクロージュニア選手権大会 ベスト16

セパタクローは、空中の格闘技とも呼ばれ、アクロバティックな動きが特徴です。日本では大学から始める者が多く、在学中に競技歴を高め、日本代表に選ばれる選手もいます。私たちも全日本大会学生優勝と日本代表を目指して、切磋琢磨しています。

公式Webサイト「ビデオライブラリ」にて
課外活動紹介動画公開中!

QRコードを読み取って動画を見よう!



REGIONAL CONTRIBUTION & UNIVERSITY-COMMUNITY RELATIONS PROJECTS

鹿屋体育大学では、大学のもつ人的・知的資源、施設・設備等を活かし、様々な地域貢献・社会連携等の取組を行っています。学生が主体的に関わるものも多く、貴重な学びの場にもなっています。ここでは本学が行っている主な取組をいくつか紹介します。

スポーツボランティア

地域の子どもの体力低下、運動部離れ、スポーツ指導者の不足、さらに中・高齢者の運動不足の解消や健康づくりのために、鹿屋市と連携し、学生ボランティアが地域の学校やスポーツ団体等においてスポーツ指導（指導補助）を安全で円滑にできるように支援しています。



公開講座

例年、本学の強みを生かしたスポーツ講座（マリンスポーツ、バスケットボール、バレーボール）や健康講座（水中運動教室、英語の講座など、15講座ほど開講しています。講座によっては、地域の方々だけでなく離島や県外からも多くの参加があります。また、2020東京五輪・パラリンピックへ向けた講座、かごしま県民大学や県総合教育センターとの連携講座、東京サテライトキャンパスでの講座なども開設しています。



子供たちの運動能力、体力の変化データをもとに考案された動画「Exseed」

スポーツトレーニング教育研究センターでは子どもたちの体力低下に歯止めをかけようと、運動の基礎となる動作を5分で正しく学べるダンス「Exseed」（読み：エクシード）を開発しました。エクシードには「走る」「跳ぶ」の基本的な動きが盛り込まれており、協力校でのリサーチを基に、高井洋平准教授がトレーニングの要素を伝えて、梶ちか子講師が約5分間のダンス風にアレンジして完成させました。本学ダンス部が協力した動画がKKB鹿児島放送の動画アプリ「KAPLI」で配信されています。



肩こり・ひざ・腰・脳トレ・引き締め 5種類からなる「健康運動」

生涯スポーツ実践センターの中垣内真樹センター長監修の健康運動をわかりやすく紹介するコーナーがMBC南日本放送で放送されています。運動は「肩こり」・「ひざ」・「腰」・「脳トレ」・「引き締め」の5つのカテゴリーを順番に、中垣内センター長による模範解説とMBCタレント2人の実践篇を組み合わせると約90秒にまとめており、毎日継続的に実践できるように展開しました。現在では学内の電子掲示板で配信しています。

登山中の身のこなしをよくする「登山体操」

安全かつ快適な登山に有効な「身のこなし」の獲得が期待できる「登山体操」をスポーツトレーニング教育研究センターの山本正嘉センター長らが考案し、NHK新潟支局で放送、HP等で配信されました。登山体操は登山中に行う様々な動作を模擬あるいは強調した3分間で10種類の動きを行うリズムカルな体操です。本学で登山に必要な動作を要素別に提案し、著名なダンサーである近藤良平さんがそれをもとに振り付けを考え、楽曲も付け完成させました。



鹿屋市・垂水市との連携

教育・文化・スポーツの振興、健康及び福祉の充実、まちづくり、地域産業の活性化、生涯学習の推進などで包括連携協定を結んでいます。主な取組として、鹿屋市との「スポーツ合宿まちづくり推進事業」、垂水市のマリンスポーツに関する事業等を行っています。



PICK UP ① タイ王国男子バレーボールナショナルチーム事前キャンプ

平成30年5月に本学、鹿屋市、鹿児島県とタイ王国で締結した2020年東京オリンピック競技大会事前キャンプに関する覚書に基づき、令和元年8月にタイ王国男子バレーボールナショナルチームが事前キャンプを実施しました。滞り期間中、本学でスポーツパフォーマンス研究センターにて動作分析を行い、選手の能力向上を図りました。串良平和アリーナでは、国体鹿児島選抜チームとのテストマッチや抽選会を行う等、ホストタウンとして市民との交流を深めました。



PICK UP ② Blue Winds 事業（地域とのスポーツ連携事業）

平成29年度より、大学スポーツを通して鹿屋市をはじめとした地域の活性化に繋げる文化モデル（KANOKAモデル）を進めており、令和元年度は、鹿屋市と共同で創設した地域密着スポーツブランド「Blue Winds」を冠とした「Blue Winds事業」として、「かのやエンジョイスポーツ」や「カレッジスポーツデイ」等のイベントを実施しました。

国立大隅青少年自然の家との連携

相互の人的・知的資源の交流と物的資源の活用によるスポーツ体験活動等を通じた社会貢献及び教育研究分野の発展に資するための連携・協力事業を行っています。例として、おおすみくんちスポーツキャンプでの本学学生による指導・測定などが挙げられます。



各課外活動団体の取組

各課外活動団体で、地域の小中高生等を対象とした競技会やスポーツ教室を開催しています。また、自治体等が主催する競技大会での審判活動や運営補助、各種スポーツ教室での指導補助を行うなど、積極的に社会・地域貢献活動に取り組んでいます。

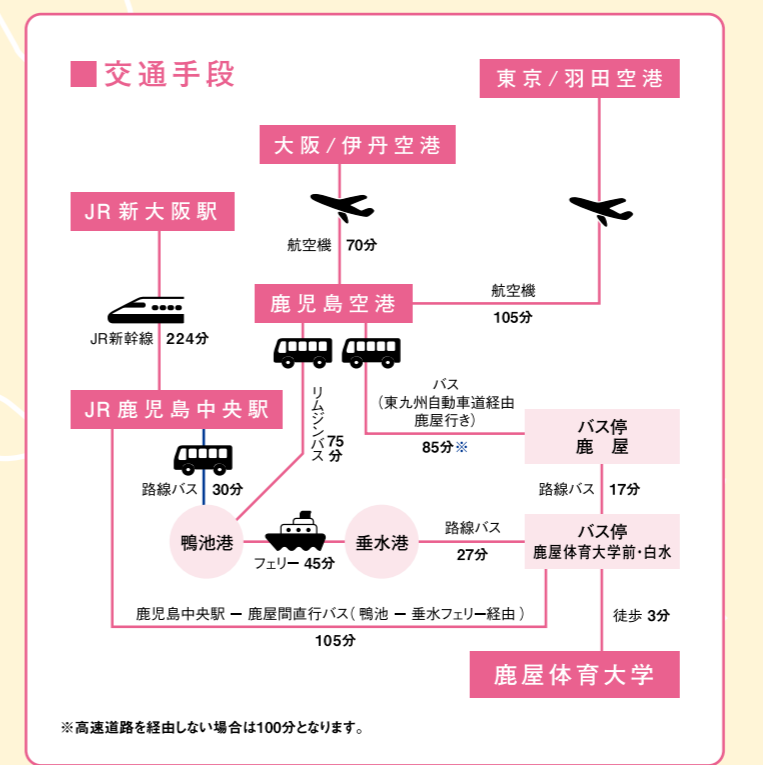


スポーツリフレッシュセミナー

本学と鹿児島県教育委員会との共催により、中学校、高等学校、特別支援学校の保健体育担当教員及び運動部活動指導者並びに競技団体の競技力向上担当指導者を対象に、競技力向上を担う指導者としての資質向上を図ることを目的として、体育・スポーツ及び健康に関する専門的研究や最新のトレーニング法の研修を実施しています。



ACCESS & AREA MAP



※高速道路を経由しない場合は100分となります。



1 かのやばら園
8haの広大な敷地に3万5千株のバラが植えられた日本最大級を誇る「かのやばら園」。鹿屋オリジナルのバラ「プリンセスかのや」をはじめ、春のシーズンには、たくさんのバラが咲き誇ります。



2 平和公園串良平和アリーナ
滑走路跡の2本の直線道路が桜の名所としても知られている平和公園にあるアリーナ。2020年10月かごしま国体では成年女子バレーボールの試合が行われる予定です。



3 仲町・京町エリア
鹿屋市中心市街地は美味しい、楽しいがいっぱい。レトロな雰囲気のお店や鹿屋の特産物、名物を味わえるお店が数多く並びます。



4 神徳稲荷神社
珍しいガラスの鳥居と連なる赤い鳥居が印象的な神社。静かで落ち着いた雰囲気でお参りやお宮参りにぴったりです。



5 雄川の滝
近年話題になった癒スポット。1.2kmの遊歩道を進むと大パノラマが広がり、エメラルドグリーンの滝つぼは美しく神秘的です。

Kanoya

2022 National Institute of Fitness and Sports

2022 大学案内



スポーツで
未来を拓く
自分を創る

表紙イラスト企画：武道課程3年 名和菜

全国でただ一つの国立の4年制体育大学

国立大学法人 **鹿屋体育大学**

問合せ先：総務課広報係

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

TEL：0994-46-4818 URL <https://www.nifs-k.ac.jp/>

Twitter、Facebookで情報発信中！



twitter



facebook



公式マスコットキャラクター
パララン